

花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第22集

特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡 発掘調査報告書

平成28年度調査

上館遺跡

2018.2

社会福祉法人 感謝の心
岩手県 花巻市教育委員会

特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡 発掘調査報告書

平成28年度調査

かみ だて
上館遺跡

例 言

1. 本書は、平成28（2016）年度に特別養護老人ホーム「花あかり」別棟の建設に伴い、社会福祉法人 感謝の心（理事長 森田敏雄）より記録保存を目的とした発掘調査（報告書作成を含む）業務の依頼を受け、花巻市がこれを受託し、花巻市教育委員会が調査を行った「上館遺跡（岩手県遺跡コードME36-0172）」の発掘調査報告書である。
2. 調査地点と面積及び調査の実施期間は次のとおりである。
岩手県花巻市南城106-7、107-1 458㎡
野外調査：平成28年6月20日～8月30日
室内整理：平成29年5月8日～平成30年2月28日
3. 発掘調査の主体及び担当者は、次の通りである。
調査主体者：花巻市教育委員会 教育長 佐藤 勝
調査総括者：花巻市教育委員会 教育部文化財課 課長 酒井 宗孝
同 埋蔵文化財係長 村田 豊隆（H28年度）
同 埋蔵文化財係長 佐藤 幸泰（H29年度）
調査担当者：橋本 征也（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）[主担当]
菊池 賢（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）
高橋 純（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
吉田 宗平（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
4. 本書の執筆は酒井・橋本が行い、編集は橋本・菊池が行った。
5. 本書に掲載の遺物写真は、高橋・吉田が撮影した。
6. 調査および整理作業は、次の方々のご協力を得た。感謝申し上げます。
野外調査：阿部幸蔵・大野信幸・佐藤隆重・佐藤弘・菅原武志・高橋綱記・立花健治
千田豊・新渕君雄・原田香理・平賀美知子・平藤達也・堀岡まゆみ・盛川義雄
八重樫鷹明・雷久保克信
室内整理：浅沼めぐみ
7. 出土陶磁器の鑑定については、羽柴直人氏（公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）よりご教示をいただいた。感謝申し上げます。
8. 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の発掘調査資料は、花巻市総合文化財センターにて保管している。

目 次

例 言

I 調査に至る経過	1
II 遺跡の立地と環境	1
III 調査方法と整理方法	6
IV 検出された遺構と出土遺物	8
(1) 竪穴建物跡	8
(2) 溝跡	16
(3) 焼土遺構	19
(4) 土坑	20
(5) 柱穴状ピット群	21
(6) 小溝跡	22
V まとめ	30

(挿図)

第1図 遺跡の位置	2
第2図 周辺の遺跡と奥州街道	4
第3図 遺跡周辺の地形分類	5
第4図 グリッド配置図	6
第5図 遺構全体図	7
第6図 1号竪穴建物跡	9
第7図 2号竪穴建物跡	11
第8図 3号竪穴建物跡	12
第9図 4号竪穴建物跡	14
第10図 1～4号竪穴建物跡出土遺物	15
第11図 1～4号溝跡	18
第12図 柱穴・ピット群(1)(調査区北半)	23
第13図 柱穴・ピット群(2)(調査区南半)	24
第14図 土坑・柱穴・ピット・焼土断面	25
第15図 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物	28
第16図 H25(第1次)調査区と今回の調査区	31

(表)

表1 土坑・柱穴計測表	26
表2 出土遺物観察表	29

(写真図版)

写真図版1 調査区遠景ほか	32
写真図版2 調査区全景ほか	33
写真図版3 1号竪穴建物跡	34
写真図版4 2号竪穴建物跡ほか	35
写真図版5 3・4号竪穴建物跡	36
写真図版6 焼土	37
写真図版7 溝跡(1)	38
写真図版8 溝跡(2)	39
写真図版9 土坑・柱穴(1)	40
写真図版10 柱穴(2)	41
写真図版11 奥州街道の松並木ほか	42
写真図版12 1～4号竪穴建物跡出土遺物	43
写真図版13 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物	44

報告書抄録	45
-------	----

I. 調査に至る経過

平成 28 年 5 月 9 日付けで、社会福祉法人「感謝の心」理事長森田敏雄氏(以下、届出人)より花巻市教育委員会(以下、市教委)に対して、特別養護老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財発掘の届出が提出された。開発予定地は、縄文時代から平安時代の集落跡、中世の城館跡、近世の道路跡が複合する上館遺跡の範囲内であり、平成 25 年度に東側の隣接地において同様の施設の建設に伴う発掘調査が実施され、多くの遺構と遺物が出土したことから、埋蔵文化財の残存する可能性が極めて高いことが想定された。

市教委では、平成 28 年 5 月 11 日付け 28 花教文第 2-7 号により当該地への試掘調査の必要性を届出人に通知し、同 5 月 13 日に試掘調査を実施した。試掘調査は、重機により幅 1.5 m、長さ 22 m と 31 m のトレンチ 2 本を南北方向に設定して遺構・遺物の有無を確認した。その結果、柱穴状の小土坑多数、竪穴建物、溝状遺構などが検出された。

この試掘結果を基に、届出人と市教委との間で埋蔵文化財に対する保護措置に関する協議を行ったが、遺構が周辺全体に及ぶことが推定されるため、建物の建設位置の変更による対応措置ができないこと、建物の構造上、地盤改良を含む深い基礎工事が必要なこと等により、埋蔵文化財の現状保存が困難であることが確認され、施設の建設にあたっては、建物建築予定部分の全面を対象とした記録保存のための発掘調査が必要であるとの結論に至った。

発掘調査は、特別養護老人ホームの建設であるため、原因者負担の原則により実施した。すなわち、届出人より平成 28 年 5 月 31 日付け文書にて市教委が埋蔵文化財発掘調査の依頼を受けたため、協議を行い、調査費用(室内整理費、報告書刊行費を含む)の合意に達したことから、発掘調査受託契約を平成 28 年 6 月 16 日に締結した。

II. 遺跡の立地と環境

1 遺跡の立地と地形・地質(第 1～3 図)

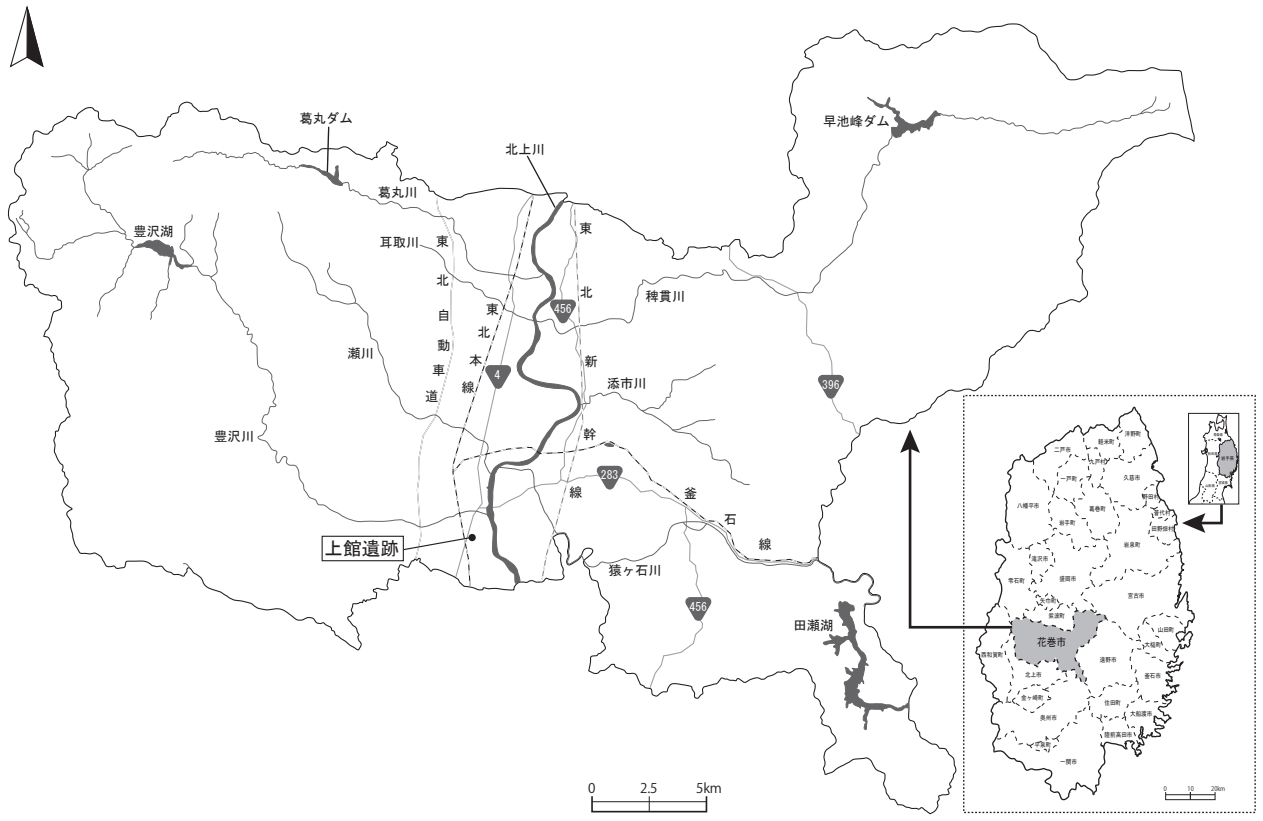
上館遺跡は、花巻市役所の南約 1.7km に位置し、北上川と豊沢川による河岸段丘上に立地する。遺跡の範囲は、今回の調査区である南城地区の北端部から桜町 4 丁目の東側にかけて広がり、宮沢賢治詩碑(羅須地人協会跡)付近を東端とする約 75,000m²である。

調査区付近の標高は 82 m 前後、東側の北上川氾濫原との比高差は約 16 m で急峻な崖地形を呈する。北側には、小規模な沢地形が東西に入る他、北西方向にも低地帯が存在し、北東部と区分される地形となっている。なお、調査区を含めこれより南西部分は、周囲より 2 m ほど高い微高地となっている。

周辺の地形は、中川久夫氏(中川他:1963 b)、渡辺満久氏(渡辺:1991)、小岩直人氏(小岩:2001)による研究があり、中位の段丘として村崎野段丘(渡辺:M 1 面、小岩:村崎野面)、下位の段丘として金ヶ崎段丘(内上位の面を渡辺:L 1 面・小岩:花巻面、下位の面を渡辺:L 2 面・小岩:南城面)に区分している。村崎野段丘は、下部に焼石連峰を噴出源とし 4 万年～7 万年前の年代が推定されている村崎野浮石を伴う黒沢尻火山灰に覆われるが、金ヶ崎段丘は更新世の火山灰は載せないとされている。

平成 25 年度及び今次の調査区は、中川氏の金ヶ崎段丘、渡辺氏の L 2 面、小岩氏の南城面に相当する。しかし、平成 25 年度調査の際、黒褐色土(Ⅱ層)の下位に褐色～明褐色を呈する火山灰層(Ⅲ層)の堆積が確認された。また、Ⅲ層の下部には粒径 1～3cm の発泡の良い浮石の混入が見られた。なお、調査区の西方約 700 m には、約 12 m の比高差を有する村崎野段丘相当面があり、この面では厚い黒沢尻火山灰層の堆積がある。

これらの観察事項について筆者らは知見を持ち合わせず、判断は専門家に委ねるが、地形及び地質における成果の報告とする。なお、今回の調査においても同層は確認され、この上面が最終的な遺構の検出面となった。



第 1 図 遺跡の位置

2 基本層序（第12図東壁）

今回の調査区では、近・現代の攪乱を多く受けており、実際の調査においては確実な分層発掘を実施していない。比較的残存状況の良い調査区南西部分の観察と平成25年度の調査結果を参考にして、当遺跡の基本層序とする。

I層 現表土及び下層の盛土や攪乱層を含む。調査区北側ではⅢ層の上部に及ぶ堆積が見られた。

Ⅱ層 黒褐色土 層厚20～30cm。中世から縄文時代までの文化層を包含するが、分層は難しい。下部は、Ⅲ層との漸移層となる。なお、中世の竪穴建物は当層を掘りこんで構築されている。

Ⅲ層 褐色～明褐色土 層厚不明。段丘の縁辺に近い平成25年度の調査区では、50cm以上の堆積が確認され、下部には粒径3cm前後の発砲の良い浮石を含むことが観察された。前述のとおり、焼石連峰を起源とする黒沢尻火山灰と考えられ、浮石は村崎野浮石と考えられる。（※本層は報文中において、一部「地山」と表記する箇所がある。）

Ⅳ層 明褐色砂礫層 平成25年度の調査で確認された層で、段丘の基盤を為す構成礫層と考えられる。

3 歴史的環境

（1）周辺の遺跡（第2図）

花巻市内には平成29年現在、1,006か所の埋蔵文化財包蔵地が岩手県遺跡台帳に登録されており、旧花巻市内には318の遺跡がある。また、上館遺跡が所在する花南地区には30か所の遺跡が分布するが、以下に周辺の遺跡で過去に調査された遺跡を紹介する。

旧石器時代の遺跡では、市内最古の遺跡で石器の形態から2～3万年前に遡る可能性を持つ石器が出土した山の神地区の宿内遺跡がある。また、豊沢川南岸の段丘縁辺には、縄文時代～古代、中近世までの遺跡が分布しており、縄文時代では晩期の墓壙や埋設土器が発見された不動Ⅰ・Ⅱ遺跡、平安時代の集落である桜町Ⅰ遺跡、不動Ⅰ・Ⅱ遺跡がある。また、幕末から明治時代初期にかけて陶磁器やレンガを生産し、短い期間ではあったが盛岡藩の御小納戸支配職人を務めた花巻焼の窯跡がある。

（2）上館について

上館遺跡については、藩政時代の文献に多くの言い伝えが残されている。江戸時代に花巻の町医者であった五世松井道円の著とされる『和賀稗貫郷村誌』に「○上館 伝言 此处古へ源頼義公御陣所トいふ 然ハ是花巻城に安倍楯籠り攻給う時の向陣場歟 其後此村の主も是に居や 此所を上館とし 南の故城を下館と云成へし」とあり、前九年合戦に関わる史跡であること、その後の頭首の居住地であることを指摘している。また、『内史略』『稗貫郡旧記』には、「村老伝へて云 十二丁目上館は頼義公の陣取られし所也 又これより東北に物見の鼻と云所有 皆頼時征伐せらるる時から ここに陣場を構へられし名の今に残れりと云々」とあって、やはり前九年合戦との関係を記述している。なお、遺跡の範囲には含まれないが、調査区の南側に接する地域は、官軍が陣を張った際に将兵のための炊事をした場所として「釜場」と呼ばれている。

中世における当地の地域地頭は、稗貫郡の重臣であった十二丁目伊藤氏である。十二丁目伊藤氏は、上館の南約1kmにある十二丁目城（獅子ヶ鼻城）を本城としたが、『参考諸家系図』には「祐光 始十二丁目氏 伊藤右市之助（伊藤家系譜では右馬助とある） 上館二居、永禄中、稗貫氏ノ旗下、大迫某叛ク、稗貫大和守庸忠兵ヲ発シテ之ヲ打ツ、祐光父子従軍ス、大迫伏兵ヲ半途木戸ヶ沢煮ニ設ケテ不意ヲ討、稗貫ノ兵大ニ狼狽ス。祐光一人殿リシテ力戦ス。敵小地沢筑前カ為ニ木戸ヶ沢ニ討死ス六十余」とあって、上館が永禄年間（1558～1570）に大迫氏の反乱鎮圧に出陣して討死した伊藤祐光の居館であったことが記されている。

なお、「稗貫郡旧記」に云う「東北に物見の鼻」とは、地形的に見て遺跡範囲の北東端部にあたる宮沢賢治詩碑の一带と考えられる。

しかし、現状は前述のとおり調査区の北側に入る沢地形が、堀の役目を果たす他には堀や土塁など城館跡としての施設は全く失われている。今回の調査により、中世城館に関係する遺構・遺物が発見されたことにより、文献を裏付ける資料が得られたことは大きな成果と言える。

(3) 奥州道中と岩崎道について (第2図)

狭義の奥州道中(奥州街道)は、千住から宇都宮までを日光道中(街道)と兼ね、その先の白沢から白河までの十宿を含めた二十七宿を指し、幕府の道中奉行の支配下となっていた。白河以北の街道は、脇街道として幕府の勘定奉行の取り扱いとなり、一般的には本街道の延長とみなされて奥州道中(街道)と呼ばれることが多いが、各到着地を冠して仙台道、盛岡道中、盛岡道、南部街道、松前街道などと多様な呼び方があった。

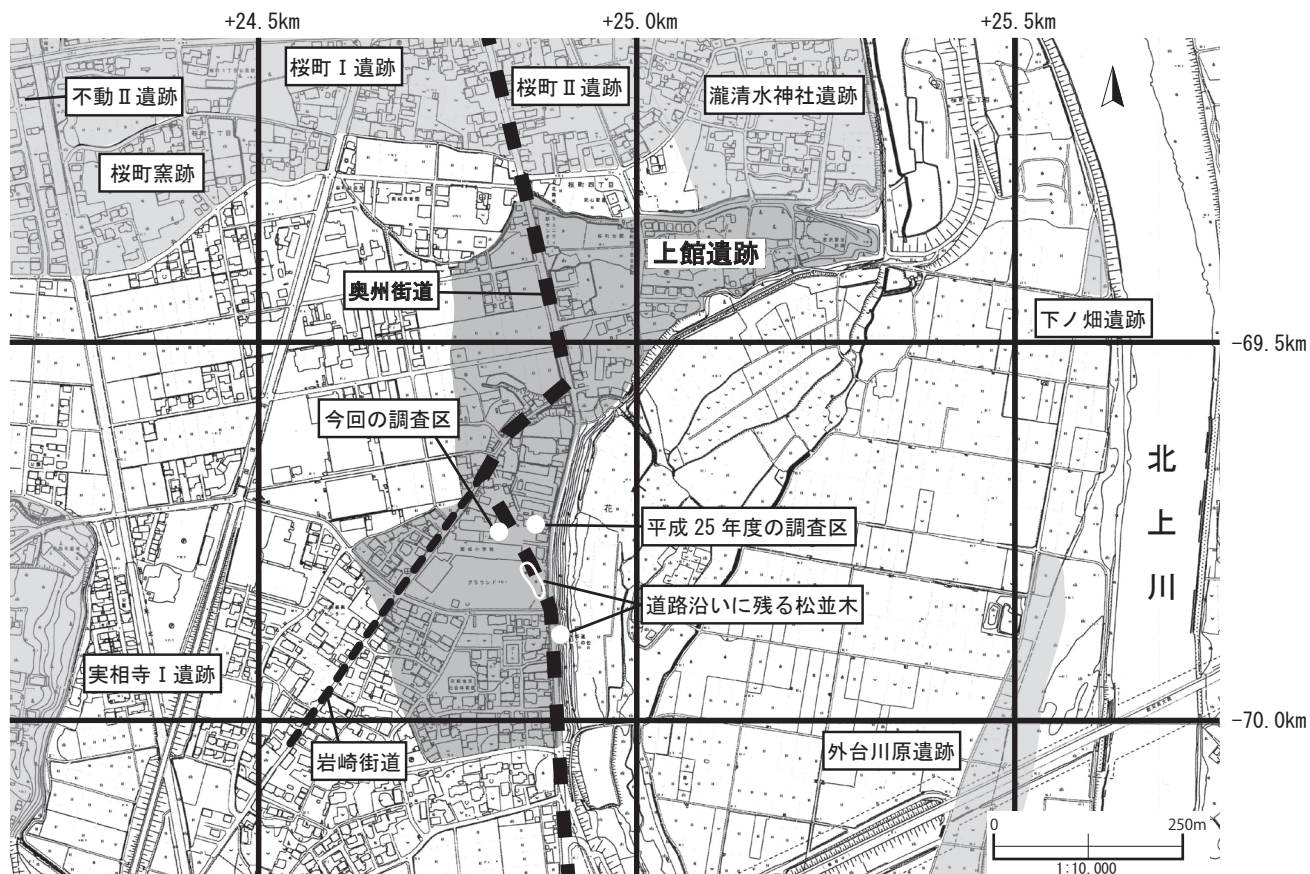
徳川幕府により寛永12年(1635)に実施された参勤交代により、各大名は定期的に江戸での勤務を命じられ、これに伴い街道の整備も進められた。盛岡藩では、明暦3年(1657)、二代藩主南部重直の命により、領内の街道の整備が行われ、寛文5年(1665)には、和賀・稗貫地区の用水建設に尽力した藩士・奥寺八佐衛門定恒が私費を投じて高木から苗を買い入れ、花巻から鬼柳までの街道に松並木を設置した。

当時の松並木は、調査区の南方約50mの南城小学校校庭内に3本、現道東脇に1本の巨木が名残の松として残っているほか、調査区の北西側の道路脇には昭和47年頃まで数本の松並木が残存していた。

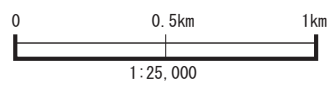
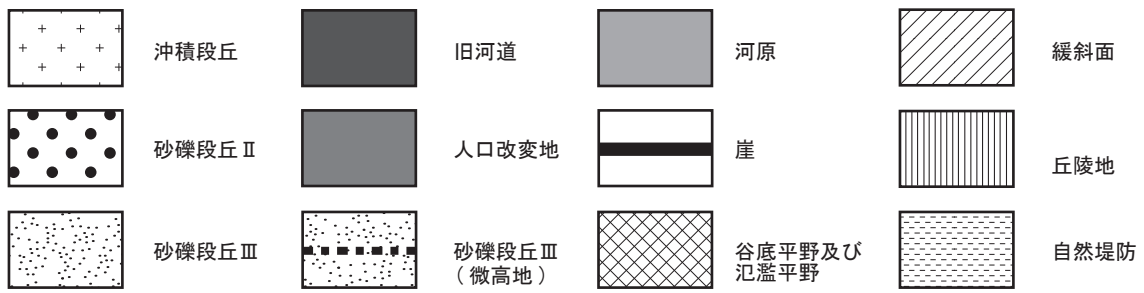
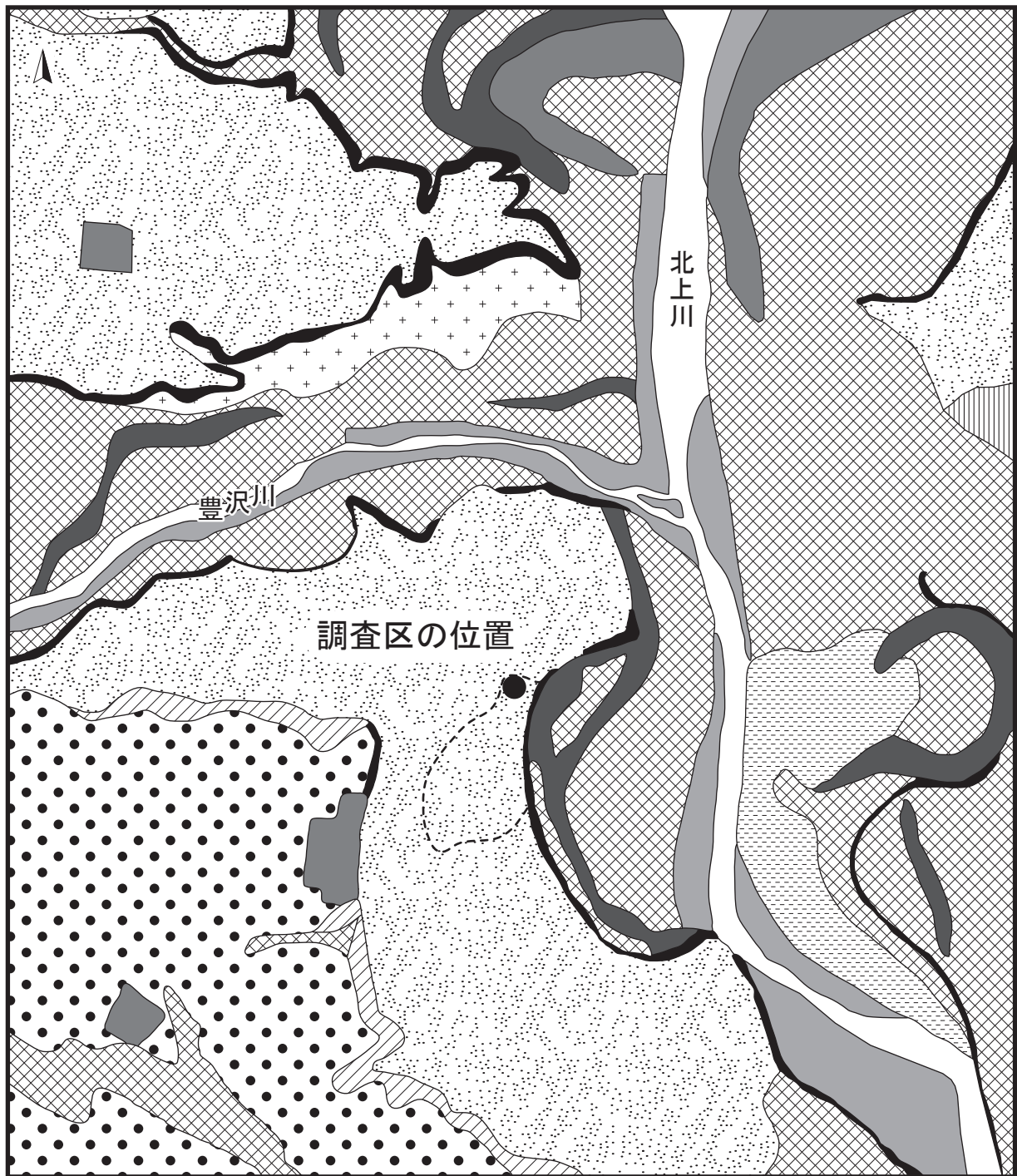
また、調査区南側の沢地形に沿う形で、南西から延びる道が奥州道中に合流している。この道は、和賀町岩崎に向かうもので「岩崎道(街道)」と呼ばれ、奥州道中整備以前の主要道として使用されていた古道である。慶長6年(1601)、前年に花巻城を攻めて落とせず、岩崎城に籠城した和賀忠親の一揆討伐のために南部利直率いる軍勢が出陣・凱旋の際に通った道である。岩崎城からの凱旋の際、当地において月が上り、これを見た将兵が勝利を讃える歌を歌いながら踊り、これが一帯に伝わる「奴踊り」の基になったと伝えられている。

なお、当該地は奥州道中がこの沢地形を避けるため西側に迂回する部分にあたり、一度岩崎街道に入った後南東に向きを変えて南城小学校校庭を通り現道に続いていた。現道の改修時期についての資料は無いが、昭和初期の花巻町全図では迂回部分が確認できる。

今回の調査では、奥州道中の側溝と考えられる溝跡が検出され、近世・近代の道路遺構の貴重な情報が得られたことは大きな成果と言える。



第2図 周辺の遺跡と奥州街道



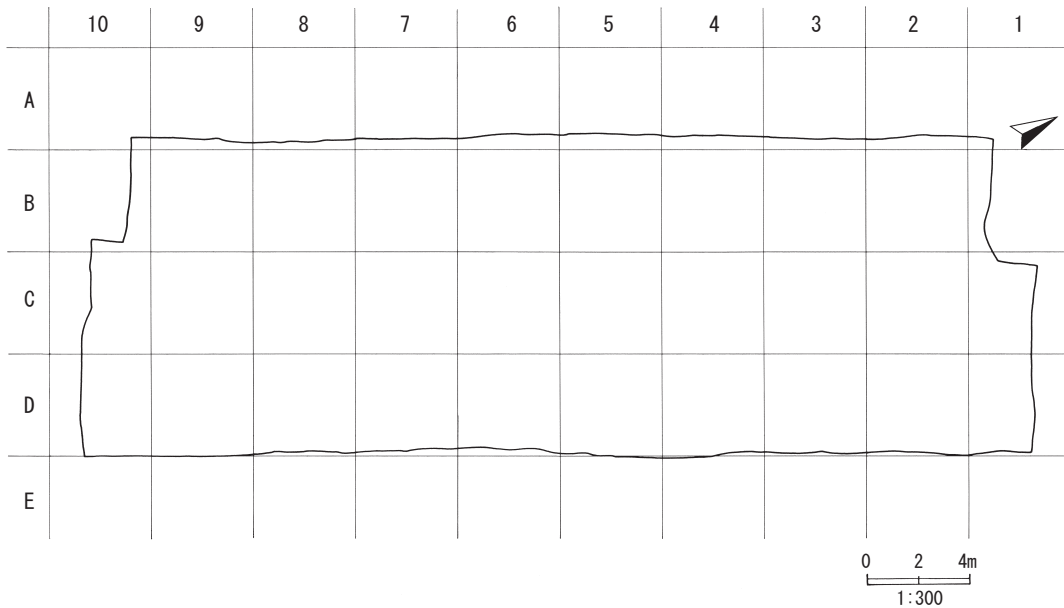
第3図 遺跡周辺の地形分類

Ⅲ. 調査方法と整理方法

1 調査方法

(1) 調査区及びグリッド設定 (第4図)

調査対象とする範囲は、予定された建物の基礎設置範囲（長辺約 38 m、短辺約 12 m の長方形）とした。測量及び遺物取り上げの基準とするグリッドは、便宜上、調査対象範囲に合わせて設定した。すなわち、上記の長方形の長辺、短辺に平行する軸を設け、これを 4 m 四方に区画するメッシュを設定し、北西の端部を原点として南西方向には 1～10、南東方向には A～E の番号と記号を付して A 1、B 2 等と呼称した。なお、基準とした軸や点は平面直角座標値に基づくものではなく、全くの任意での設置であり、方位表示は全て磁北とした。



第4図 グリッド配置図

(2) 調査方法

試掘調査の結果、表土以下の土層は、盛土や近・現代の攪乱が卓越していて、遺物の包含は認められなかったため、重機により褐色土層（第Ⅲ層）直上まで除去し、その後人力によって遺構の検出作業を行った。検出された遺構はグリッド名と種類を併せて A 1 竪穴建物跡、B 2 土坑等と命名した。

遺構の精査にあたっては、竪穴建物跡は 4 分法、土坑類は 2 分法を原則として埋土の状態を観察し、重複状況や新旧関係の把握に努めたが、必要に応じて他の方法も併用した。

検出された遺構は、トータルステーションによる簡易的な遣り方測量により、平面・断面の実測図を作成したが、一部平板による測量も併用した。縮尺は 1/20 を原則とし、平板での測量は 1/100 で実測図を作成した。

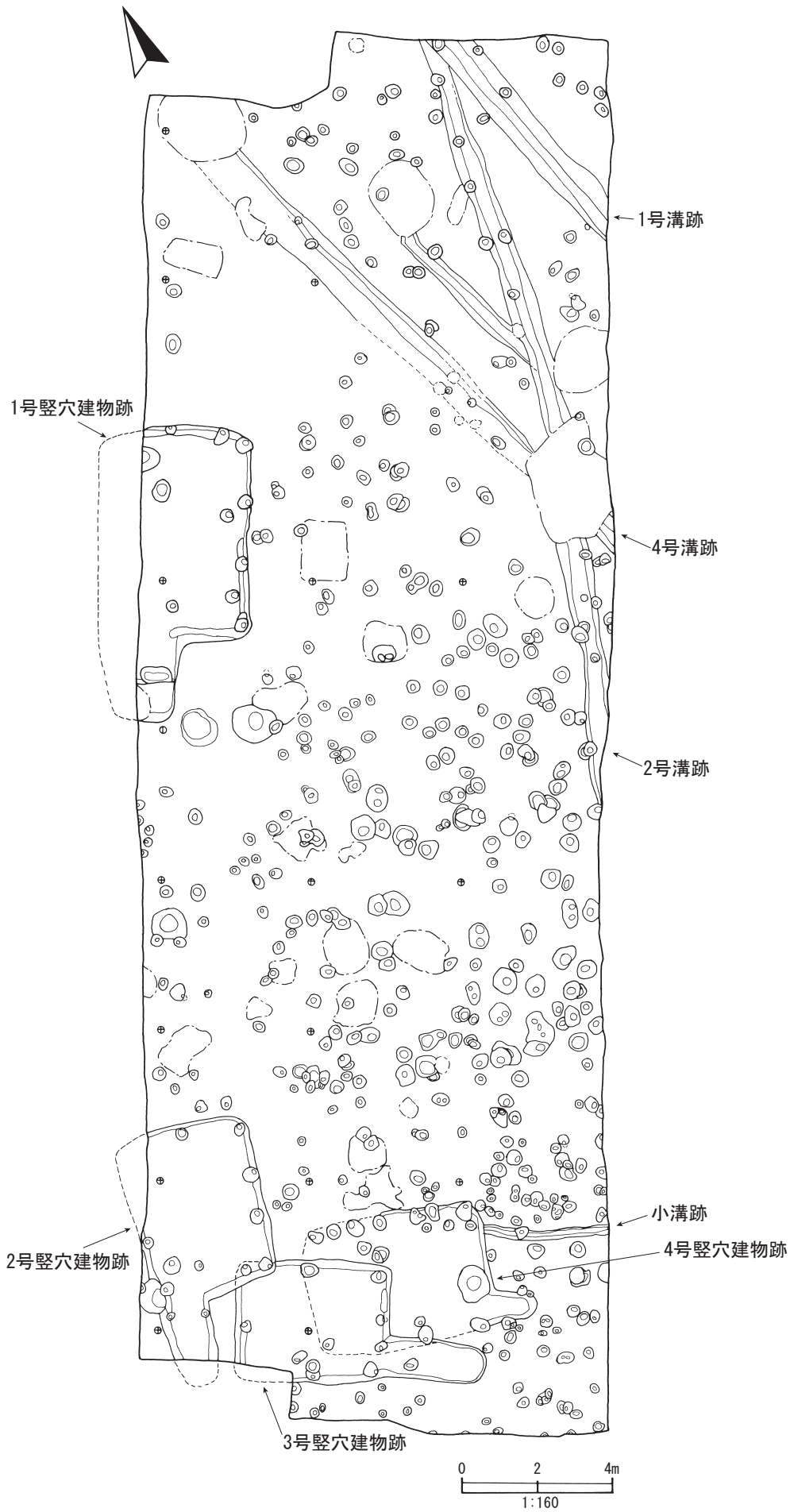
出土遺物の取り上げは、遺構内出土遺物は遺構名、出土層位を、遺構外からの遺物はグリッド名、出土層位を記して取り上げた。

写真撮影は、デジタル一眼レフカメラをメインに工事現場用カメラを補助として、精査の各段階に応じて適宜撮影した。

なお、調査成果の公表の場として、平成 28 年 8 月 11 日に現地説明会を開催した他、平成 29 年 1 月 21 日に「花巻の遺跡を学ぶ会」において調査結果を発表した。

2 室内整理

室内整理では、出土遺物の洗浄、分類、接合、写真撮影を先行させ、この後に実測とトレースを行った。遺構図面は、第二原図の作成後これをトレースして図版化し、併せて写真図版を作成した。



第5图 遺構全体图

IV. 検出された遺構と出土遺物

今次調査で検出した遺構は、竪穴状遺構4棟、溝跡4条、焼土遺構4基、小溝跡1条、土坑5基、柱穴状ピット436基である。出土遺物の総量は中コンテナ（容量34ℓ）1箱分出土しており、うち25点を実測・掲載した。

(1) 竪穴建物跡

1号竪穴建物跡（遺構：第6図・写真図版3、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区北半西側のB4～B5グリッド付近に位置する。東半の約2/3程を検出しており、西半の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複は特に見られないものの、床面で検出した柱穴配置から建替え（拡張）が想定される。一方、南側の張出し部では近年の攪乱を受けている。

〔形状・規模〕 全体形は南北に軸方向（磁北より28°東傾）をもつ隅丸長方形（東西2.9m以上・南北5.7m）に、南側の西寄り付近に出入り口状の張出し部（東西1.1m以上・南北2.1m）を加えた形状とみられる。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さでは約60～70cmを測る。

壁面は直立気味に立ち上がり、床面は平坦である。床面には北～東～南壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に大小13基の柱穴・土坑状ピットを確認している。壁周溝の規模は、幅10cm・深さ2～3cm前後である。

柱穴状ピットは直径30～40cm・検出面からの深さ50～60cmの規模であり、うち柱痕跡（直径12～20cmの円形、概ね17～18cm大が主）をもつものはp2・p3・p4・p5・p6・p7・p8・p11の8基であるが、その配置からみて全て同一時期のものとは言い難い。このうち、p3・p9・p10の3基は壁内部の壁際列（p4～7）とはずれた位置に並んでおり、断面観察で遺構の切り合いが観察されないことからみると、これら3基の柱穴は古期の建物跡に伴う（東壁際の）柱穴列とみることができ、本遺構は南側及び東側へ（西側は不明）拡張された可能性が指摘できる。p2とp11もこれらと同じ古期に伴うものとみると、東西間数は不明であるものの、南北の間数は2間⇒3間へ拡張されており建物規模が拡大された状況が伺える。

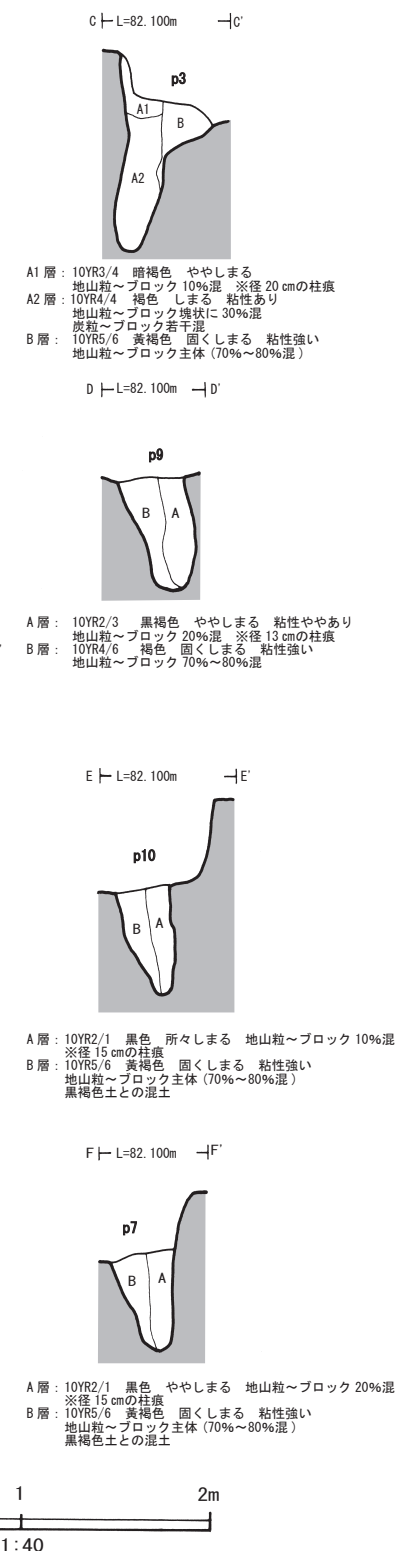
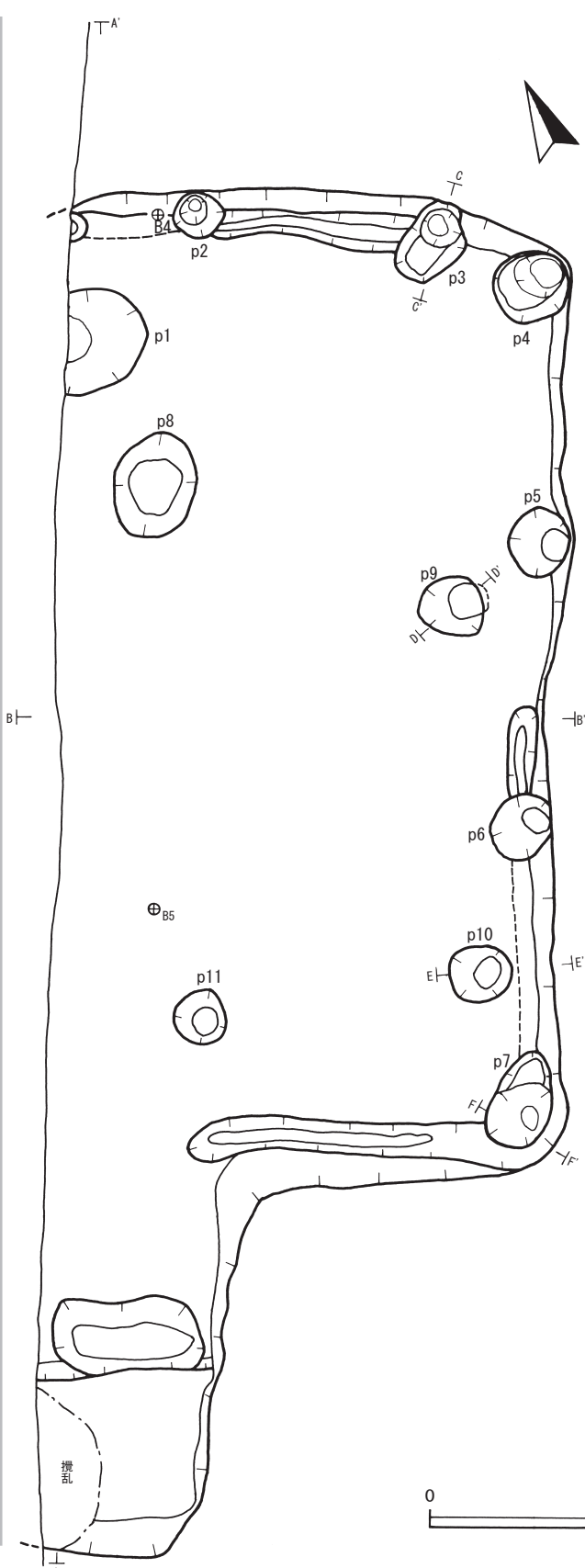
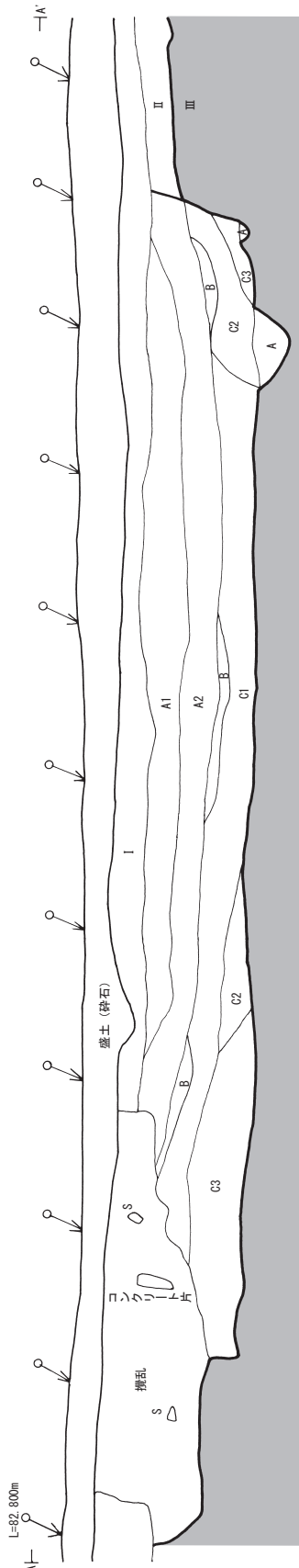
また、張出し部中程にある段差はこの旧期建物跡に伴う張出しの南壁ととらえれば、建物拡張に伴い張出し部も南側へ拡張したものと推定できる《旧期建物跡の推定規模等：南北に軸方向（磁北より20°東傾）をもつ隅丸長方形（東西2.6m以上・南北4.7m程）に、南側の西寄り付近に出入り口状の張出し部（東西1.1m程・南北1.8m程）を加えた形状》。

建物内部は、新期建物跡が東西2間？・南北3間の柱配置となり、柱間寸法は約1.6～2.0m（約5～7尺）を測る。一方、想定される旧期建物跡は東西2間・南北2間となり、柱間寸法は約1.4～2.2m（5～7尺前後）を測る。

〔埋土・堆積状況〕 A～C層に大別され、さらに上位のA層は2層また下位のC層は3層に分かれる。A層は粘性のあるにぶい黄褐色土で、B層は泥炭質ブロックを主体とする黒褐色土、C層は所々に酸化し泥炭質ブロックを含む褐色土となる。うち、A層及びC1層はⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状もしくは塊状に含んでおり、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、床面に貼床状の堆積土は確認されなかった。

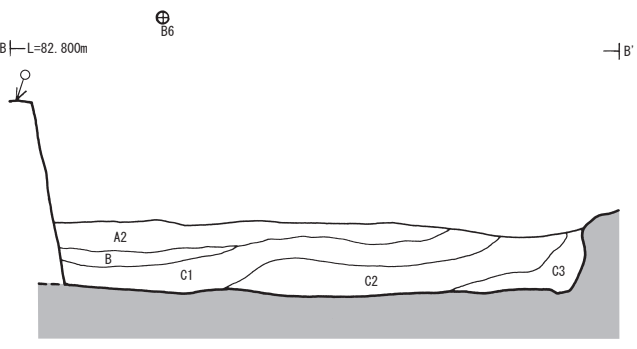
〔出土遺物〕 遺物は埋土中から1～7が出土しており、1は中世とみられる陶器（常滑焼か）片、2～5は古代の土師器片のうち2・3は同一個体の坏片、6・7は縄文時代の土器片のうち6は口縁部、7は磨滅の顕著な底部片である。なお、2～7は埋土堆積の過程で周囲より混入したものであろう。

〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。



ビット A層: 10YR3/4 暗褐色 ややしまる 粘性ややあり、地山粒~ブロック 20%混
 周構状 A層: ビット1のA層と類似する層相

ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット1	A4	(51×48)	17.0	81.355
ビット2	B4	30×28	77.0	81.111
ビット3	B4	49×34	110.0	80.864
ビット4	B4	43×42	119.0	80.830
ビット5	B4	41×37	82.0	80.966
ビット6	B4	(40×36)	62.0	80.915
ビット7	B5	57×41	101.0	80.989
ビット8	B4	60×49	10.0	81.459
ビット9	B4	43×33	57.0	80.900
ビット10	B5	35×33	51.0	81.023
ビット11	B5	34×31	30.0	81.225



(A-A'・B-B')

A1層: 10YR5/3 にぶい黄褐色 固くしまる 粘性強い 地山粒~ブロックを塊状 (10YR7/3 にぶい黄褐色) に30~40%混(褐色土との混土) 炭粒~ブロック若干混

A2層: 10YR4/3 にぶい褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック (10YR6/6 明黄褐色) を霜降状に20%~30%混 炭粒~ブロック若干混

B層: 10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性あり 泥炭質ブロック主体 (40~50%混) 地山粒~ブロック20%混

C1層: 10YR4/4 褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック霜降状に20%~30%混(褐色土との混土) 泥炭質ブロック若干混 酸化し所々に黄褐色化

C2層: 10YR2/3 黒褐色 しまる 粘性あり 泥炭質ブロック多めに混(30%) 地山粒~ブロック20%~30%混 酸化し所々に黄褐色化

C3層: 10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性あり 泥炭質ブロック20%~30%混 地山粒~ブロック20%~30%混 所々に酸化

2号竪穴建物跡（遺構：第7図・写真図版4、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区南半西側のB8～B10グリッド付近に位置し、西半の一部及び南半張出し部の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複関係は3号竪穴建物跡及び4号土坑をそれぞれ切っており、またp9に切られる。

〔形状・規模〕 全体形は南北に軸方向（磁北より15°東傾）をもつ隅丸長方形（東西3.4m・南北4.5m）に、南壁側の西寄り付近に出入り口状の張出し部（東西1.3m・南北1.5m以上）を加えた形状である。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さでは約90～100cmを測る。

壁面はほぼ直立気味であり、床面は平坦で張出し部に向かって緩やかに立ち上がっていく。西壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に大小10基の柱穴・土坑状ピットを確認している。柱穴状ピットは直径30cm内外・検出面からの深さ40～50cmの規模であり、うち張出し部付近のp1・p10は径20cm内外とやや小ぶりの平面規模となる。そのうち、柱痕跡（直径10～20cmの円形）をもつものはp1～8・p10の9基であり、大概直径15cm大のものが多く、張出し部付近は直径10cmと小ぶりになる。建物内部は、東西2間・南北3間の柱配置となり、柱間寸法は約1.1～1.5m（4～5尺前後）を測る。

〔埋土・堆積状況〕 A～D層に大別され、さらに上～中位のA・B層は3層また下位のC層は2層に分かれる。A層は粘性が強くⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状もしくは塊状に含むにふい黄褐～暗褐色土で、B層はしまりがありⅢ層起源のブロックを塊状に含む所々に酸化する黒褐～黄褐色土、C層は明黄褐～黒褐色土、D層は壁際中心に堆積する黒褐色土となる。A・B層の層相からみて、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、張出し部では層厚10cm前後の貼床とみられる構築土（E層 粘性強く固くしまる灰黄褐色土）を確認しており、厚さに変動はあるが壁際を除く建物内部に広く検出されている。

〔出土遺物〕 遺物は埋土中から8～11が出土しており、8は瓦質土器の口縁部片で、中世のもの可能性があるが小片のため判然としない。9・11は同一個体で、白色を呈し表面に平行タタキ目を残す古代の須恵器大甕片、10は先端を欠損するが、縄文時代の棒状を呈する石鏃である。なお、9～11は埋土の堆積過程で周囲より混入したものであろう。

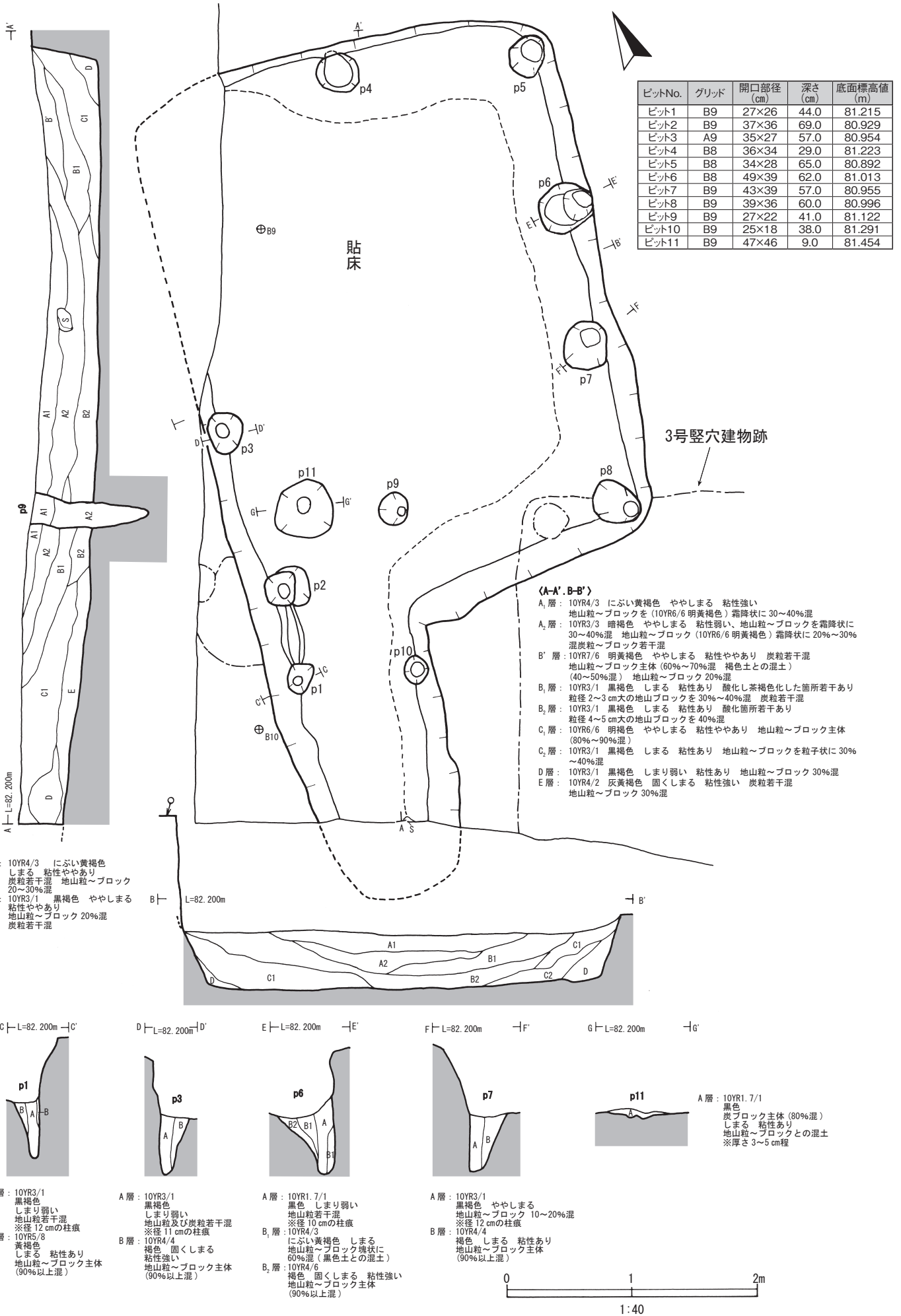
〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。

3号竪穴建物跡（遺構：第8図・写真図版5、遺物：第10図・写真図版12）

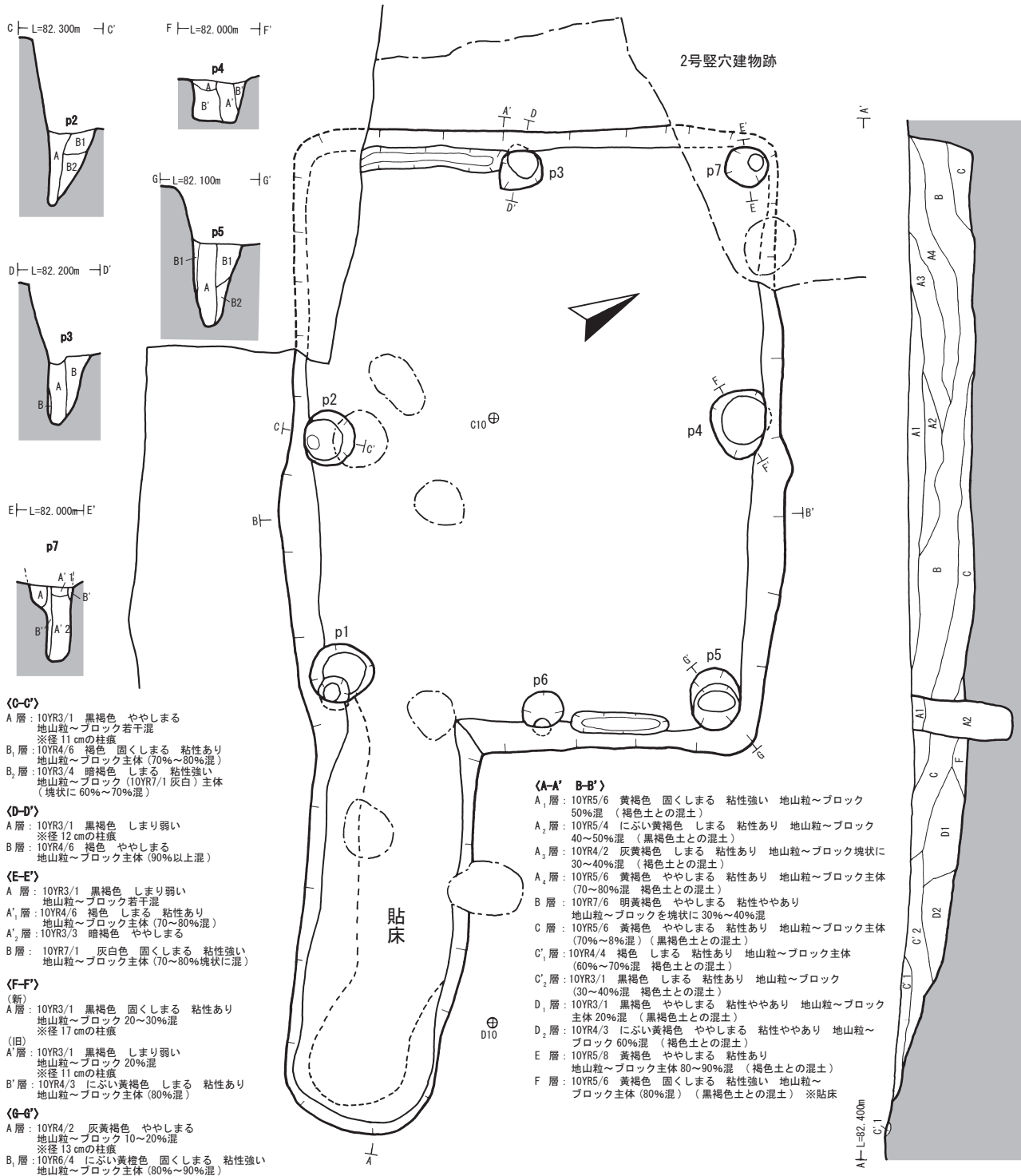
〔位置・検出状況〕 調査区南半のB9・C9・B10・C10・D10グリッド付近に位置し、西南半の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複関係は2号竪穴建物跡及び4号竪穴建物跡、さらに複数のピット（東西断面ほか）にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 全体形は東西に軸方向（東西辺は磁北より28°東傾）をもつ隅丸長方形（東西4.1m・南北3.2m）に、東壁側の南寄り付近に出入り口状の張出し部（東西2.5m・南北1.0m）を加えた形状である。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さでは約60cmとなる。

壁面はほぼ直立気味となり、床面は平坦で張出し部に向かって緩やかに立ち上がっていく。西壁及び東壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に13基の柱穴状ピットを確認しているが、約半数は本遺構埋没後に新しく掘られた柱穴であり、配列の規則性からみて都合7基が本遺構に関わるものと推定された。柱穴状ピットは直径30～40cm内外・検出面からの深さ50cm内外の規模である。うち、p4は深さ30cm内外とやや浅くなり、埋土内で別遺構の柱穴（p4西南の浅い柱痕（A層））と重複しているが、平面位置から後述する4号竪穴建物跡に伴うもの可能性もある。全てに柱痕跡（直径12～16cmの円形）が認められ、大概直径15cm前後のものが多い。建物内部は、東西2間・南北2間の柱配置となり、柱間寸法は約1.5～1.8m（5～6尺）を測る。



第7図 2号竖穴建物跡



- 〈C-C'〉**
 A層: 10YR3/1 黒褐色 ややしまる
 地山粒~ブロック若干混
 ※径 11 cmの柱痕
 B層: 10YR4/6 褐色 固くしまる 粘性あり
 地山粒~ブロック主体 (70%~80%混)
 B₂層: 10YR3/4 暗褐色 しまる 粘性強い
 地山粒~ブロック (10YR7/1 灰白) 主体
 (塊状に 60%~70%混)
- 〈D-D'〉**
 A層: 10YR3/1 黒褐色 しまり弱い
 ※径 12 cmの柱痕
 B層: 10YR4/6 褐色 ややしまる
 地山粒~ブロック主体 (90%以上混)
- 〈E-E'〉**
 A層: 10YR3/1 黒褐色 しまり弱い
 地山粒~ブロック若干混
 A'層: 10YR4/6 褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック主体 (70~80%混)
 A₂層: 10YR3/3 暗褐色 ややしまる
 B層: 10YR7/1 灰白色 固くしまる 粘性強い
 地山粒~ブロック主体 (70~80%塊状に混)
- 〈F-F'〉**
 (新)
 A層: 10YR3/1 黒褐色 固くしまる 粘性あり
 地山粒~ブロック 20~30%混
 ※径 17 cmの柱痕
 (旧)
 A'層: 10YR3/1 黒褐色 しまり弱い
 地山粒~ブロック 20%混
 ※径 11 cmの柱痕
 B'層: 10YR4/3 にふい黄褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック主体 (80%混)
- 〈G-G'〉**
 A層: 10YR4/2 灰黄褐色 ややしまる
 地山粒~ブロック 10~20%混
 ※径 13 cmの柱痕
 B層: 10YR6/4 にふい黄褐色 固くしまる 粘性強い
 地山粒~ブロック主体 (80%~90%混)
 炭粒若干混
 B₂層: 10YR3/2 黒褐色 ややしまる
 地山粒~ブロック 20%混

- 〈A-A' B-B'〉**
 A₁層: 10YR5/6 黄褐色 固くしまる 粘性強い 地山粒~ブロック
 50%混 (褐色土との混土)
 A₂層: 10YR5/4 にふい黄褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック
 40~50%混 (黒褐色土との混土)
 A₃層: 10YR4/2 灰黄褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック塊状に
 30~40%混 (褐色土との混土)
 A₄層: 10YR5/6 黄褐色 ややしまる 粘性あり 地山粒~ブロック主体
 (70~80%混 褐色土との混土)
 B層: 10YR7/6 明黄褐色 ややしまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロックを塊状に 30%~40%混
 C層: 10YR3/6 黄褐色 ややしまる 粘性あり 地山粒~ブロック主体
 (70%~8%混) (黒褐色土との混土)
 C'層: 10YR4/4 褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック主体
 (60%~70%混 褐色土との混土)
 C₂層: 10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック
 (30~40%混 褐色土との混土)
 D₁層: 10YR3/1 黒褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒~ブロック
 主体 20%混 (黒褐色土との混土)
 D₂層: 10YR4/3 にふい黄褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒~
 ブロック 60%混 (褐色土との混土)
 E層: 10YR5/8 黄褐色 ややしまる 粘性あり
 地山粒~ブロック主体 80~90%混 (褐色土との混土)
 F層: 10YR5/6 黄褐色 固くしまる 粘性強い 地山粒~
 ブロック主体 (80%混) (黒褐色土との混土) ※貼床

ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット1	C10	44×42	77.0	80.996
ビット2	C10	37×33	57.0	81.076
ビット3	B9	31×28	53.0	81.173
ビット4	C9	47×43	36.0	81.284
ビット5	C9	46×33	45.0	81.219
ビット6	C9	30×26	51.0	81.183
ビット7	B9	32×29	62.0	80.941

第8図 3号竖穴建物跡

〔埋土・堆積状況〕 A～E層に大別され、さらに上位のA層は4層に下位のC層は3層に分かれ、また下位のD層も2層に細分される。A層は粘性が強くしまりⅢ層起源の粒子～ブロックを多く含む黄褐色～灰黄褐色土で、B層は明黄褐色土、C層は粘性がありⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色～黒褐色土、D層はⅢ層起源の粒子～ブロックを含む黒褐色～にぶい黄褐色土、E層は壁際を中心に堆積しⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色土となる。A～D層の層相からみて、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、張出し部の始まり付近では最大層厚10cm前後の貼床とみられる構築土（F層 粘性強く固くしめる黄褐色土）を確認しており、厚さに変動はあるが張出し部の壁際を除く建物内部に広く検出されている。

〔出土遺物〕 遺物は検出面上から12の古代に属する須恵器瓶片が出土しており、外面に透明な自然釉がかかるものである。また図示していないが、縄文土器の小片2点が埋土中より出土している。これらは、埋土の堆積過程で周囲より混入したものであろう。

〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。

4号竪穴建物跡（遺構：第9図・写真図版5、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区南半のC9・D9・C10グリッド付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであるが、西半はこの面が掘り込まれないために範囲は不明確となっている。遺構の重複関係は3号竪穴建物跡及び東側の小溝跡を切り、さらに複数のピット（南北断面ほか）にそれぞれ切られている。

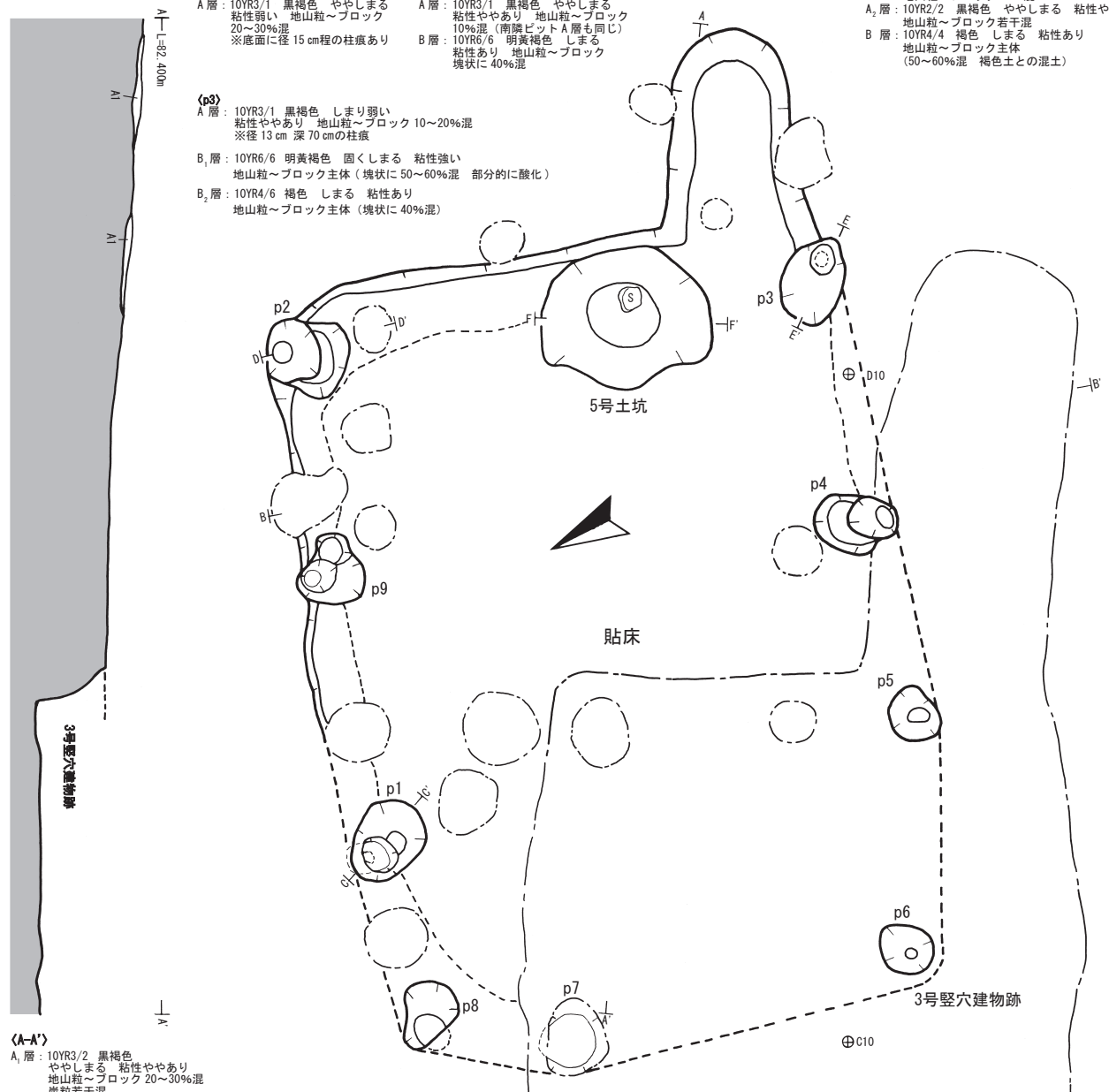
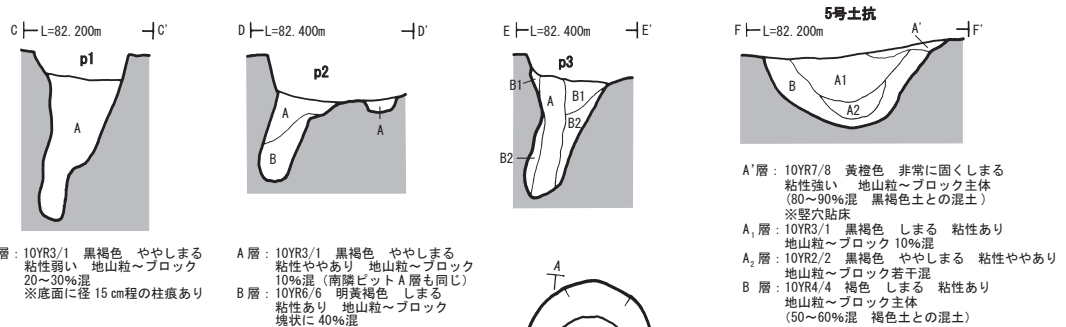
〔形状・規模〕 全体形は壁の残りが良くないために推定の域を出ないが、東西に軸方向（東西辺は磁北より15°東傾）をもつ隅丸長方形（東西（推定）4.9m・南北3.6m程）に、東壁側の南寄り付近に入出口状の張出し部（東西1.2m・南北0.7m）を加えた形状とみられる。検出（Ⅲ層上）面からの深さは、北辺一部～東辺を除く部分でこの面が掘り込まれないために詳細は不明であるが、確認可能な部分で約5～15cm程を測る。掘り込み面は不明であるが、他遺構の例からみて少なくともⅡ層上面からは掘り込まれるものと推定できる。

壁面の立ち上がりは不明であり、床面は平坦で張出し部に向かってかなり緩やかに立ち上がっていく。壁周溝は確認出来ず、壁際を中心に23基の土坑・柱穴状ピットを確認しているが、多くは本遺構に伴うものではなく、その前後の異時期に掘られた柱穴とみられる。配列の規則性からみて、p1～6・8・9の都合8基が本遺構に関わるものと推定される。柱穴状ピットは直径30～50cm内外・検出面からの深さ50～90cm内外の規模であるが、うちp1は深さ90cm程と他に比べて深く、内部の深さ60cm程に段差があるためこれが本遺構に伴うもので、新しい柱穴に切られている可能性がある。柱痕跡が明確に認められる柱穴は見られなかったが、柱穴底面の状況によれば大概直径10cm前後の円形のものが多い。建物内部は、東西3間・南北1間の柱配置となるようであるが、柱穴の重複状況により判然としない。柱間寸法は北辺と南辺で約1.2～1.7m（4～6尺前後）、また推定される西辺と東辺で約2.9～3.4m（10～11尺前後）を測る。

〔埋土・堆積状況〕 A層は上下2層に細分されるが、Ⅲ層起源の粒子～ブロックを霜降り状に含み、炭粒を若干混入する黒褐色土となる。層相からみて人為的に埋め戻された可能性もあるが、埋土の大半が検出不能であったため詳細は不明である。なお、数cm以下の層厚であるが、貼床とみられる固くしめる構築土を壁際を除く建物内部において確認している。

〔出土遺物〕 遺物は埋土下層から13の縄文土器片が1点出土しており、LR横の地文がつくものである。埋土の堆積過程で、周囲より混入したものとみられる。

〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。

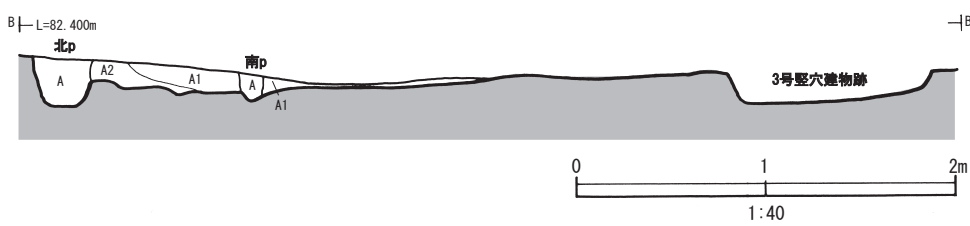


<A-A'>
 A₁層: 10YR3/2 黒褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒~ブロック 20~30%混 炭粒若干混

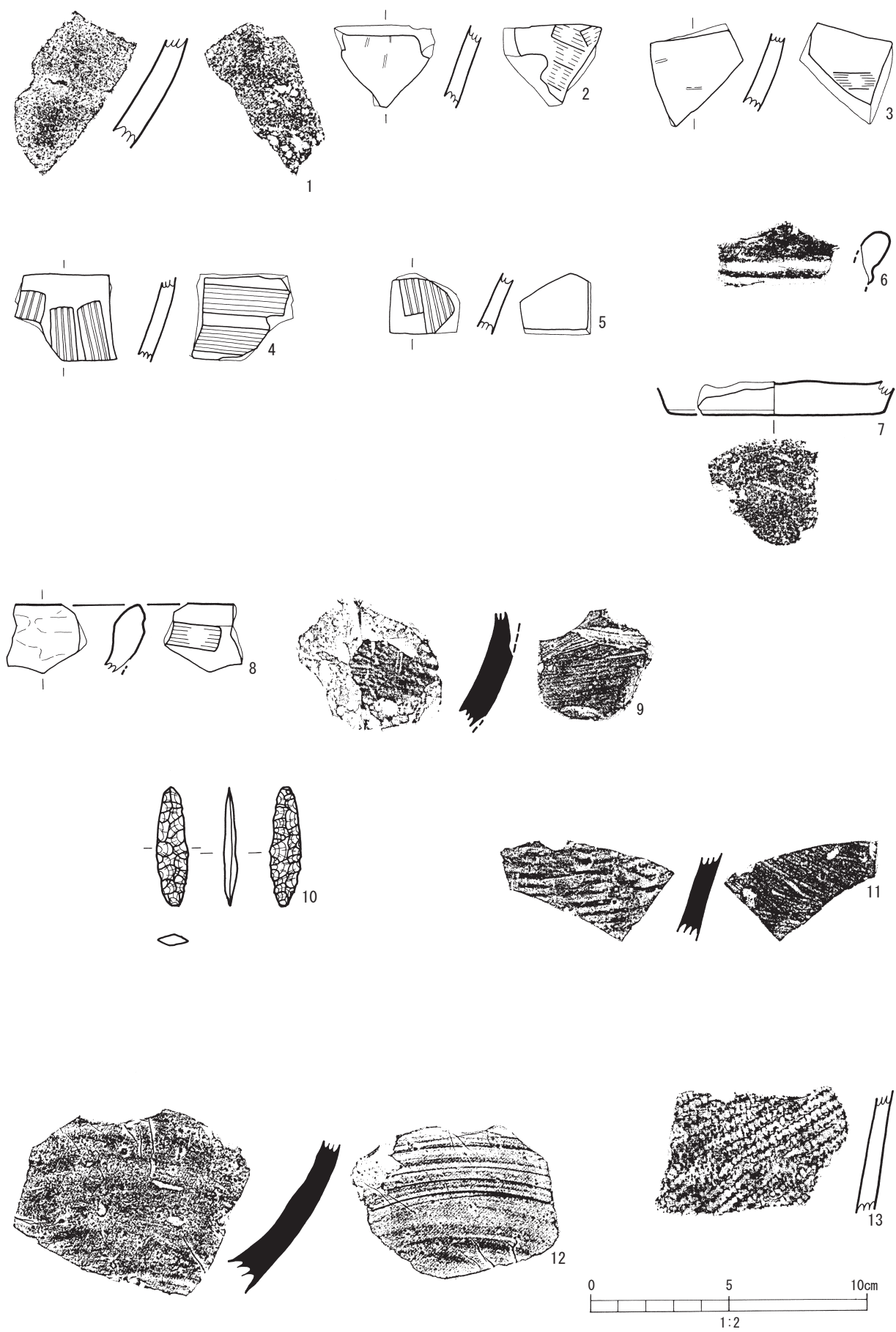
<B-B'>
 A₁層: 10YR3/2 黒褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒~ブロック 20~30%混 炭粒若干混
 A₂層: 10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック霜降りに30%混 炭粒若干混

<B-B' 北p>
 A層: 10YR3/4 暗褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック (10YR7/4 にぶい黄褐色) 霜降りに30~40%混
<B-B' 南p>
 A層: 10YR3/3 暗褐色 しまる 粘性あり ※北ピットと層相ほぼ同じ

ピットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ピット1	C9	53×37	89.0	81.179
ピット2	D9	42×33	64.0	81.446
ピット3	D9	53×36	69.0	81.531
ピット4	C10	30×27	65.0	81.438
ピット5	C10	34×31	73.0	80.996
ピット6	C10	36×29	38.0	81.295
ピット7	C9	47×43	36.0	81.284
ピット8	C9	44×40	78.0	81.296
ピット9	C9	43×41	76.0	81.327



第9図 4号竖穴建物跡



第 10 图 1 ~ 4 号竖穴建物跡出土遺物

(2) 溝跡

1号溝跡 (遺構：第11図・写真図版7、遺物：第15図・写真図版13)

〔位置・検出状況〕 調査区北半のC1・C2・D2グリッド付近に位置し、西北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。掘り込み面は近年の削平等の造成により失われており、Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は2号溝を切っており、複数のピットと重複しているが新旧関係は不明である。

〔形状・規模〕 南北方向に直線的に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より15°西傾）であり、調査区内で長さ7.5m程確認したものである。断面形は、逆台形状を呈する。規模は、上面幅80～100cm程（90cm（3尺）平均）・底面幅25～30cm程（1尺前後）であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さは約20～40cm（30cm平均）ある。底面の形状は平坦であるが、地形に合わせて若干北方へ向かい傾斜している。壁面はやや直立気味に立ち上がるもので、丁寧に掘り込まれている。

〔埋土・堆積状況〕 A・B層に分かれ、また下位のB層はさらに2層に細分される。A層は小礫を多く混入し固くしめる黒褐色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロック主体で粘性の強い褐色～黄褐色土であり、両層とも人為堆積土とみられ、埋め戻されているようである。

〔出土遺物〕 遺物は14・15の土製品と磁器片が埋土中から出土している。14は窯道具で、陶製の脚付き焼き台である。本遺跡の北西方約0.5kmにある「桜町窯跡」は、幕末～明治初期に操業の「花巻焼」を生産した窯跡であり、これに関連する遺物とみられる。15は近代以降とみられる磁器皿である。他に図示しなかったが、近代以降の鉄製品片（ローマ字ネーム刻印付き、刀子か）が1点出土している。

〔時期〕 底面からの出土遺物はないが、埋土より江戸時代末の遺物が出土しており、しっかり掘り込まれている点や旧奥州街道を踏襲した地割範囲（第16図内の点線範囲）の内部に位置する点等からみて近世の遺構（奥州街道の西側側溝か）とみられる。

2号溝跡 (遺構：第11図・写真図版7・8、遺物：第15図・写真図版13)

〔位置・検出状況〕 調査区北半のC1・C2・D2～D6グリッド付近に位置し、北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。Ⅲ層上面で検出したものであるが、調査区東壁断面の観察によれば掘り込み自体はⅡ層上面よりなされているようである。遺構の重複関係は1号溝に切られるもので、さらに多数のピットと重複しているが多くは本遺構を切っているものとみられる。

〔形状・規模〕 南北方向に直線もしくはやや弧状気味に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より10°東傾）であり、調査区内で長さ18m程確認したものである。断面形は、舟底型を呈している。規模は、上面幅40～80cm程（60～70cm平均）・底面幅20～50cm程（30～40cm平均）を測り、検出（Ⅲ層上）面からの深さは約15～30cmである。底面の形状は比較的平坦で、南北方向で明確な傾斜は見られない。壁面は、緩やかに立ち上がっている。

〔埋土・堆積状況〕 調査区東壁では壁際にB層（にぶい黄褐色土）が部分的に観察されたが、主体はA層のみであり、これは上下2層に細分される。A層は、しまり粘性ともある黒～黒褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は、埋土中よりわずかに16の縄文土器片（口縁部、縄文晩期か）が1点出土したのみである。

〔時期〕 遺物の出土が限られ詳細は不明であるが、埋土の状況や溝の走向軸線が2号竪穴建物跡及び4号竪穴建物跡と比較的近い（東へ10°前後）こと（第5図参照）からみて中世に属する遺構の可能性がある。

3号溝跡（遺構：第11図、写真図版7・8）

〔位置・検出状況〕 調査区北半のC2・D3グリッド付近で、部分的に確認されたものである。掘り込み面等は失われており、Ⅲ層上面で検出したものである。重複関係は2号溝を切っており、北半は木根とみられる攪乱に切られている。

〔形状・規模〕 南北方向に直線状に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より20°西傾）であり、長さ4.8mにわたって確認されたものである。断面は、やや東側壁が立つが全体として浅い掘り込みとなる。規模は、上面幅35～50cm程・底面幅20～30cm程であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さはわずか4～6cm程である。

底面の形状はほぼ平坦であるが、地形に合わせてわずかに北方へ向かい傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕 A層のみで、炭粒を若干混入し固くしまり粘性のある暗褐色土であるが、後述する4号溝のA2層と層相が近似しており、人為的に埋め戻された可能性がある。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がなく、埋土も残りが悪いため詳細は不明であるが、4号溝と走向や埋土が近似する点からみて近世以降（近代か）の遺構とみられる。

4号溝跡（遺構：第11図・写真図版7・8）

〔位置・検出状況〕 調査区北半のB2・C2・C3・D3・D4グリッド付近に位置し、西北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。Ⅲ層上面で検出したものであるが、調査区東壁断面の観察によれば掘り込み自体はⅡ層上面よりされている。遺構の重複関係は、南半で2号溝と重複しているが攪乱により新旧関係は不明である。しかしながら、本遺構は1号溝に平行するなど近世の旧奥州街道に由来するものとみられるため、2号溝よりは新しくこれを切っていると推定される。また、北端も木根状の攪乱により切られている。

〔形状・規模〕 南北方向に直線的に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より18°西傾）であり、調査区内で長さ17m程確認したものである。断面は、やや東側壁が立ち西側に浅い段がつく形となり、全体として浅い掘り込みとなる。規模は、上面幅50～110cm程（90cm（3尺）平均）・底面幅10～30cm程であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さは15cm前後である。

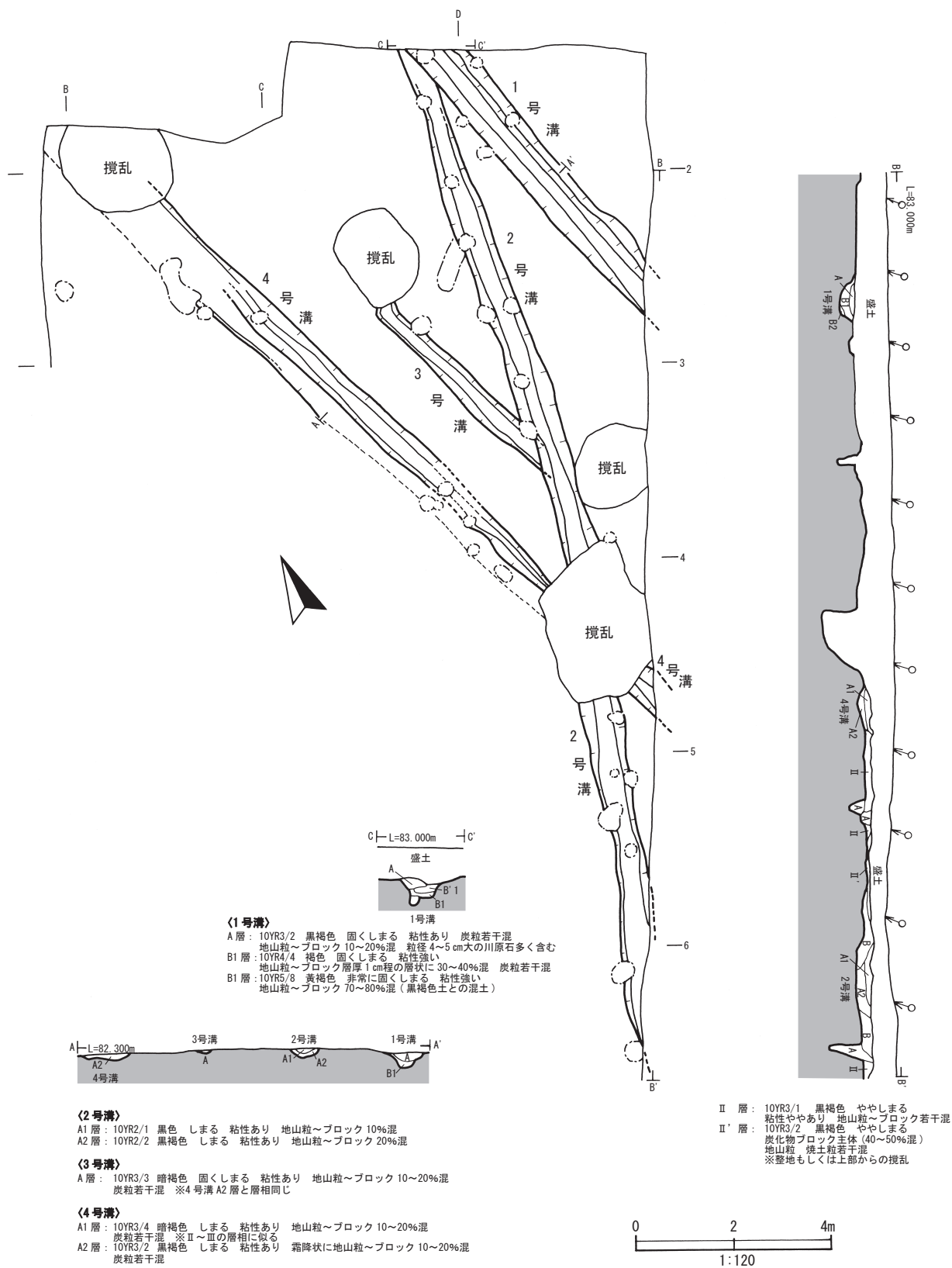
底面の形状はやや凸凹があり、1号溝と同様に地形に合わせて若干北方へ向かい傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕 調査区東壁では上下2層が観察されたA層であるが、全体的には単層となる。

炭粒を若干混入し、しまり粘性ともある暗褐色土である。前述の3号溝の埋土と層相が似ており、人為的に埋め戻された可能性がある。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がなく、埋土も残りが悪いため詳細は不明であるが、1号溝や3号溝と走向や埋土が近似する点、また後述するが旧奥州街道に関連した地割範囲の境界西側にほぼ一致すること（第5図参照）からみて近世以降（近代か）の遺構とみられる。



第11図 1~4号溝跡

(3) 焼土遺構

1号焼土遺構（遺構：第13・14図・写真図版6、遺物：第15図・写真図版13）

〔位置・検出状況〕 C6・D6グリッドの境界付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであり、焼土内に（礫は現存しないものの）一辺3～4cm程の礫を5～6個円形に配置した痕跡が確認できるため元々は石囲炉であった可能性がある。またこの検出状況からみて、壁面は失われているが本遺構は竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性もある。また、東側約2m隣りにも同面に2号焼土が検出されており、これも同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係は、焼土下に古い柱穴（p190）がありこれを切っており、さらに東側を柱穴（p202）により切られている。

〔形状・規模〕 東西に広がる楕円形範囲（東西70cm・南北40cm）に広がる焼土で、層厚6cm前後の厚さで堆積しており（A'層）、下位（B'層）は旧柱穴の埋め戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕 A'層は、焼土ブロック主体で炭粒を若干含むしまり粘性ともある明赤褐色土である。

〔出土遺物〕 焼土内からは出土していないが、本遺構を切るp202内の埋土下層より模範銭とみられる洪武通寶（中国明代1368年初鑄）1点（22）が出土している。

〔時期〕 焼土内の出土遺物がないため詳細は不明であるが、切り合い状況等からみて中世に属する遺構であろう。

2号焼土遺構（遺構：第13・14図・写真図版6）

〔位置・検出状況〕 D6グリッド中央付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであり、1号焼土と同様に焼土内部に円形に並べた数個の礫が抜かれた痕跡を確認した。また、本遺構も竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性があり、西側に隣接する1号焼土とともに、同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係は、焼土下に切り合いを伴う古い柱穴2基（p203・p204）があり、これを切っている。

〔形状・規模〕 東西45cm・南北55cmの不定形範囲に広がる焼土で、最大厚10cm程の厚さで堆積しており（A層）、下位（B層）は旧柱穴の埋め戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕 A層は、焼土ブロックを含み炭粒～ブロックを若干含むしまり粘性ともある明赤褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため詳細は不明であるが、切り合い状況等からみて中世に属する遺構であろう。

3号焼土遺構（遺構：第13・14図・写真図版6）

〔位置・検出状況〕 D9グリッド東半に位置する。Ⅲ層上面で検出したもので検出状況からみて、壁面は失われているが本遺構は竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性もある。また、東側約45cm隣りにも同面に4号焼土が検出されており、これも同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係はみられない。

〔形状・規模〕 径40～45cmの円形範囲に広がる焼土で、深さ10cm前後の浅い掘り込み地業後に層厚3cm前後の厚さで焼土を堆積しており（A1層）、下位（A2層）は地業に係る埋戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕 A1層は、焼土ブロック主体で炭粒を若干含むしまり粘性ともあるにぶい赤褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 焼土内の出土遺物がないため詳細は不明であるが、検出状況等からみて中世に属する遺構であろう。

4号焼土遺構（遺構：第13図・写真図版6）

〔位置・検出状況〕 D9グリッド東半に位置する。Ⅲ層上面で検出したもので、本遺構も竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性があり、西側隣りの3号焼土と同じく建物跡に伴う可能性がある。遺構の重複関係はみられない。

〔形状・規模〕 東西径30cm以上、南北径50cm程の円形（推定）範囲に広がる焼土で、深さ10cm前後の皿状掘り込み地業後に層厚3～4cm前後の厚さで焼土を堆積している（B層）。

〔埋土・堆積状況〕 埋土は、調査区東壁断面の観察によればA・B層に分かれ、上層は焼土・炭粒を若干含み、下位は焼土粒～ブロック主体の赤褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 焼土内の出土遺物がないため詳細は不明であるが、検出状況等からみて中世に属する遺構であろう。

（4）土坑

1号土坑（遺構：第12・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 B5・B6グリッド間西寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係はみられないが、北東部で木根（攪乱）と重複している。

〔形状・規模〕 平面形は直径100cm程のややゆがむ円形であり、深さは60cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、またB層は上下2層に細分されるが、概ね自然堆積層とみられる。A層は黒色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロックを含むにぶい黄褐色～黒褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため、不明である。

2号土坑（遺構：第12・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 B5・B6グリッド間東寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係はみられないが、北東部で風倒木根（攪乱）と重複している。

〔形状・規模〕 平面形は東西径120cm程・南北径105cm程のややゆがむ楕円形であり、深さは50cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、またA層は上下2層に細分されるが、概ね自然堆積層とみられる。A層はⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状に若干含む暗褐色～黒褐色土、B層は黒色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため、不明である。

3号土坑（遺構：第13・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 A7・B7グリッド間北寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は南側でp213・p219にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径90cm・南北径85cm程のやや扁平な円形であり、深さは35cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、概ね自然堆積層とみられる。A層は炭粒を若干含みⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状に含むにぶい黄黒色土、B層は焼土粒～ブロックを若干含む黒色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため不明であるが、層相より古代以前に属する可能性がある。

4号土坑（遺構：第13・14図）

〔位置・検出状況〕 A9・B9グリッド間南寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は北西側でピットに、また東半を2号竪穴建物跡にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径70cm以上・南北径90cm程の円もしくは楕円形とみられ、深さは27cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面は中位にゆるい段をもちながらゆるやかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA層で、さらに2層に細分されるもので、概ね自然堆積層とみられる。黒褐色～褐色土であり、下位はⅢ層起源の粒子～ブロックを多めに混入する層相となる。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため不明であるが、層相より古代以前に属する可能性がある。

5号土坑（遺構：第13図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 D9グリッド西寄りに位置する。4号竪穴建物跡精査中にⅢ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は、全体的に上層を4号竪穴建物跡に切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径85cm・南北径100cm程の楕円形とみられ、残存する深さは40cm程を測る。断面形は船底型となり、壁面はゆるやかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層で、うちA層はさらに2層に細分されるもので、概ね自然堆積層とみられる。A層は黒褐色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロック主体の褐色土となり、土坑中央底面付近のB層中には扁平な礫（一辺12～13cm）が混入する。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため不明であるが、切り合い関係等からみて古代以前に属する可能性がある。

（5）柱穴状ピット群（遺構：第12・13・14図・写真図版2・9・10、遺物：第15図・写真図版13）

調査区全域にわたって、特に4ライン以南かつBライン東半以东で密集し、かつ重複した形で、多数の柱穴状ピット（計436基）を検出した。このうち、礎石を伴うものは皆無であった。規模については、直径20～60cm程の円形プランを呈し、検出面からの深さ20～70cm前後の比較的しっかりしたものが多く、中には直径16～20cm程の柱痕跡を残すものも確認されている。埋土の様子は、柱痕の見られないものはややしまる黒褐色土、一方で柱痕の残るものについては柱痕部が炭粒～ブロックを若干含む黒褐色土、根固め部は固くしまりⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色土が主体となる。むろん、これらの柱穴は複数個が組み合わせられて掘立柱建物跡や柱列等を構成するとみられるもので、野外調査時に個別の配置の検討を行い建物跡等の把握に鋭意努めたが、調査区域及び期間上の制約や調査員の力量不足により明確には抽出できなかった。ただし、5ライン中央～東半付近や6～8ライン北半の中央～東半付近、さらに9ライン東半付近など数カ所で柱穴の集中域を見出すことができるため、そこに何らかの建物跡等が存在するとの想定は可能であろう。うち、6～8ライン付近（B6東南～C6南半～D6南半及びB8北東～C8北半～D8北半）では、それぞれ東西方向にやや規模の大きい柱穴（p184・p190・p204及びp299・p316・p314）が並ぶようであり、東西6m以上・南北6m程（東西棟か）の掘立柱建物跡となる可能性があるが、柱穴群の密集や重複により判然としない。さらに、これら柱穴の重複状況からみて、少なくとも2～3期にわたる建物等の時期変遷があるものと理解されるが、具体的な建物跡の特定等が不明確であるため推測の域を出ない。なお、前述の通り1号・2号焼土付近や3・4号焼土付近にも何らかの建物跡（東西棟の竪穴、工房跡か）が所在する可能性が高いが、周辺の柱穴配置に規則性を見出すことは出来ない。

柱穴内部からの出土遺物は、わずかに18～22が出土している。18・19は不整な地文のみられる土器片及び頁岩製の剥片でいずれも縄文時代の遺物、20は硯で縁付きの陸部片であり破損後に裏面を中心に砥石として再利用されるもの、21は青磁の鎬蓮弁文碗片で、14世紀代の中国龍泉窯産とみられるもの、22は1号焼土遺構で述べたが模倣銭とみられる洪武通寶であり、21・22は中世～近世初頭に属する遺物である。柱穴群の時期は、出土遺物が希少であるため詳細は不明であるが、中世の竪穴建物跡と重複箇所が殆どない点や21・22のように中世の遺物を出土している点からみて、多くは中世に属する遺構であるが、一方では北半を通る奥州街道の近在地でもあるために、この中の一部には近世に属する柱穴を含む可能性もある。

(6) 小溝跡 (遺構：第13図、写真図版8)

〔位置・検出状況〕 D9グリッド北半に位置し、Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は、西側一部を4号竪穴建物跡に切られ、またp384と重複している。

〔形状・規模〕 東西方向に直線もしくはやや弧状に伸びる溝跡で、東側は調査区外へ伸びており、長さ3.5mにわたり確認されたものである。断面はやや壁が立つもので、底面はほぼ平坦となる。規模は、上面幅20～25cm程また底面幅4cm前後であり、検出(Ⅲ層上)面からの深さは15～20cm程である。

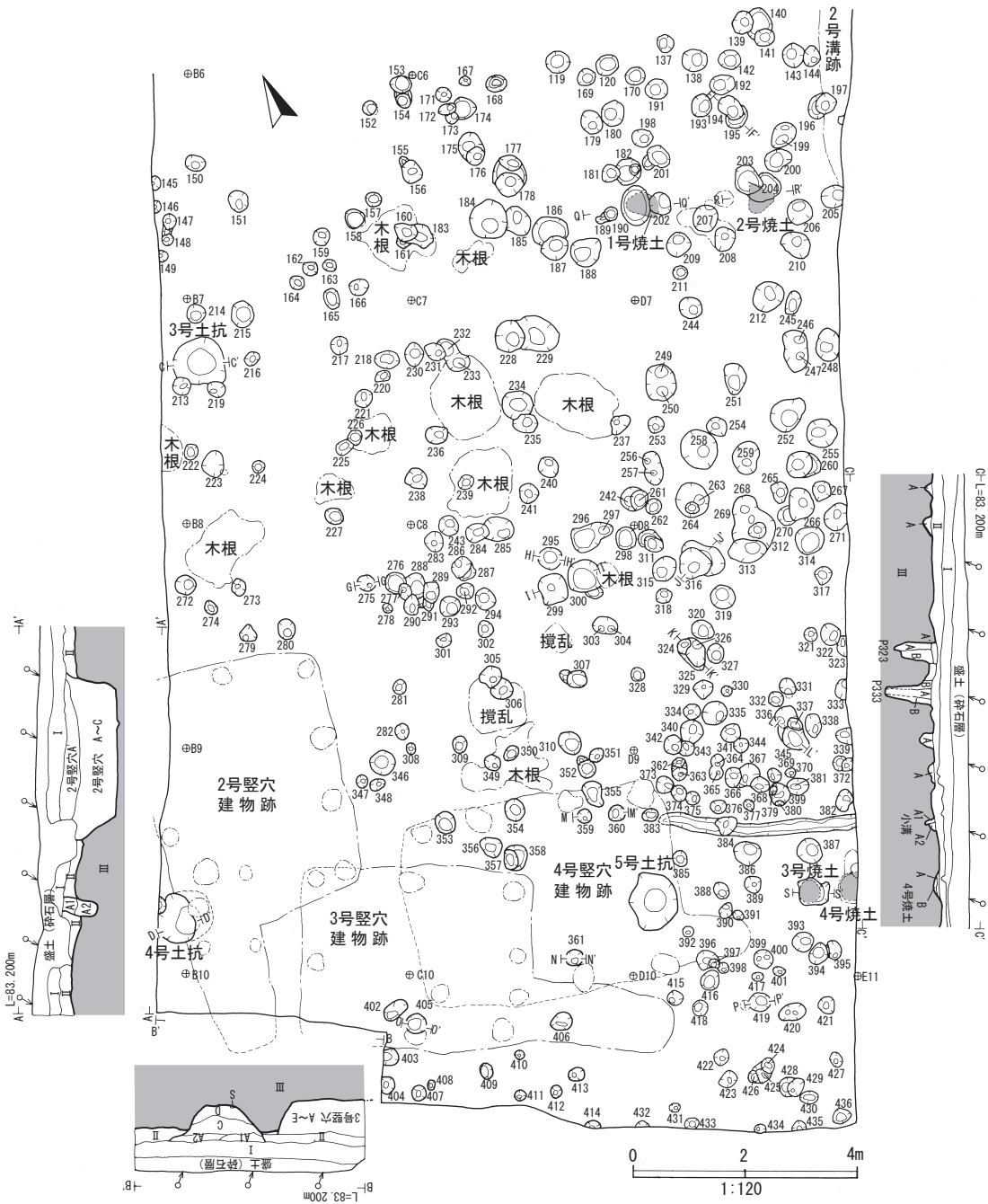
〔埋土・堆積状況〕 A1層は板塀状の痕跡で、やや北傾気味に堆積しており、炭粒を若干混入する黒褐色土で、A2層は根固め土とみられる。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がなく詳細は不明であるが、1号竪穴建物跡及び3号竪穴建物跡と軸方向が近似する点からみて中世の遺構とみられる。



第12図 柱穴・ピット群(1) (調査区北半)



(A-A')

- I層：10YR4/4 褐色 しまる 地山粒～ブロック 20～30%混 炭粒～ブロック若干混 ※盛土
- II層：10YR3/1 黒褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒～ブロック若干混
- III層：10YR5/8 黄褐色 固くしまる 粘性強い ※地山
- A1層：10YR4/4 褐色 しまる 粘性あり 地山粒～ブロック 10～20%混
- A2層：10YR3/3 暗褐色 ややしまる 粘性ややあり 地山粒～ブロックを塊状に 20%混
- A'層：10YR3/3 暗褐色 しまる 粘性強い 地山粒～ブロック (10YR7/4 にぶい黄褐色) を塊状に 60～70%混 ※堅穴埋戻土の最上層

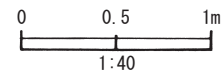
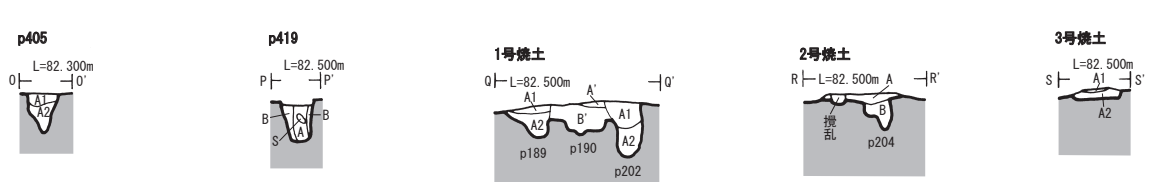
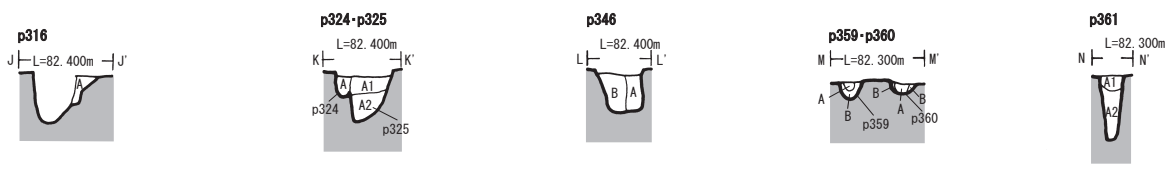
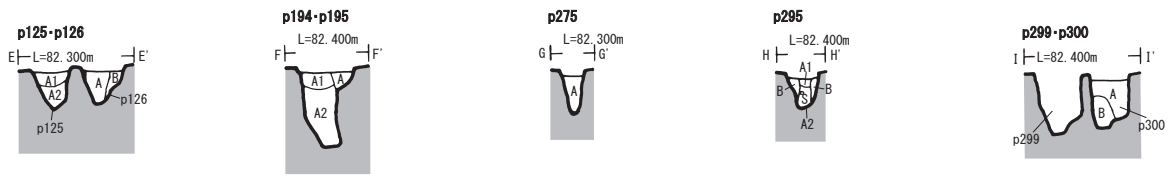
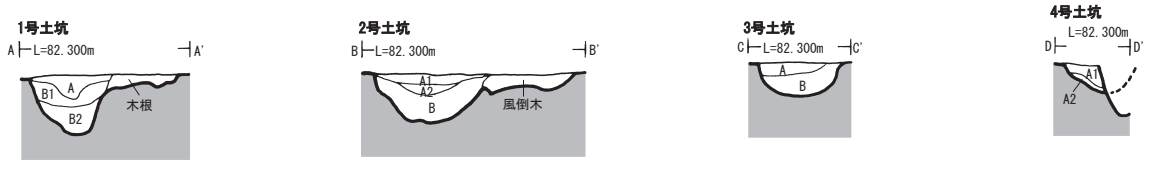
(B-B')

- II'層：10YR5/4 にぶい黄褐色 しまる 粘性強い 地山粒～ブロック (10YR7/4 にぶい黄褐色) を塊状に 60～70%混 炭粒～ブロック若干混 ※3号堅穴埋戻後の整地層か

(C-C')

- (p323)
 - A'層：10YR4/3 にぶい黄褐色 固くしまる 粘性あり 地山粒～ブロック 10%混 炭粒若干混
 - A層：10YR4/1 褐灰色 しまる 粘性あり 地山粒～ブロック 20%混 炭粒～ブロック若干混 ※径 16 cmの柱根 下位より青磁片 1点出土
 - B層：10YR5/6 黄褐色 固くしまる 粘性あり 地山粒～ブロック 40%混 炭粒若干混
- (p333)
 - III'層：10YR4/3 にぶい黄褐色 固くしまる 粘性強い 地山粒～ブロック 10～20%混 炭粒若干混 ※整地層か
 - A層：10YR3/2 黒褐色 ※径 18～20 cmの柱根 炭粒若干混 ややしまる 粘性ややあり 地山粒～ブロック 20%混
 - B層：10YR3/4 暗褐色 しまる 粘性あり 地山粒～ブロック 30%混
- (小溝)
 - A1層：10YR2/3 黒褐色 しまる 粘性あり 炭粒若干混 地山粒～ブロック 10～20%混 ※幅 4～5 cm 溝 15～20 cmの板塼様
 - A2層：10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性あり 地山粒～ブロック 30%混
- (4号焼土)
 - A層：10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性あり 地山粒 焼土粒 炭粒若干混
 - B層：7.5YR4/6 赤褐色 しまる 粘性あり 焼土粒～ブロック主体 (70～80%混) 地山粒若干混

第 13 図 柱穴・ピット群 (2) (調査区南半)



- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>1号土坑
 A層: 10YR2/1 黒色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック若干混
 B1層: 10YR4/3 にぶい黄褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック多め(40%)混
 B2層: 10YR2/3 黒褐色 しまる 粘性強い
 地山粒~ブロック下位中心に20%混</p> | <p>2号土坑
 A1層: 10YR3/3 暗褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック霜降状に10~20%混
 炭粒若干混
 A2層: 10YR3/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック霜降状に10~20%混
 B層: 10YR2/1 黒色 ややしまる 粘性強い
 下位中心に地山粒~ブロック霜降状に20%混</p> | <p>3号土坑
 A層: 10YR4/3 にぶい黄褐色 しまる
 粘性ややあり 地山粒~ブロック
 霜降状に30~40%混 炭粒若干混
 B層: 10YR1.7/1 黒色 しまり弱い
 粘性ややあり 下位中心に地山粒~
 ブロック10~20%混
 焼土粒~ブロック若干混</p> | <p>4号土坑
 A1層: 10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック若干混
 A2層: 10YR4/4 褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック多めに(50~60%)混
 ※2号壁穴に切られる(縄文か)</p> |
|---|--|--|---|

- | | | | | |
|---|--|---|---|--|
| <p>p125
 A1層: 10YR3/2 黒褐色 しまる
 粘性あり 地山粒~ブロック
 20%混 炭ブロック若干混
 A2層: 10YR2/2 黒褐色 しまる
 粘性あり 地山粒~ブロック塊状
 に30%混</p> | <p>p194・p195
 A1層: 10YR4/3 にぶい黄褐色
 しまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック30%混
 A2層: 10YR3/2 黒褐色 ややしまる
 地山粒~ブロック20~30%混
 A層: 10YR2/2 黒褐色 しまる
 粘性あり 地山粒~ブロック
 塊状に20%混</p> | <p>p275
 A層: 10YR3/1 黒褐色 しまり弱い
 粘性ややあり 地山粒~ブロック
 10~20%混</p> | <p>p295
 A1層: 10YR4/2 灰黄褐色 固くしまる
 粘性あり 地山粒~ブロック主体
 (40~50%混) 炭粒若干混
 A2層: 10YR3/2 黒褐色 しまる
 粘性ややあり 中位に径5cm程の小礫
 1点含む 地山粒~ブロック若干混
 B層: 10YR5/4 にぶい黄褐色 固くしまる
 粘性あり 地山粒~ブロック主体
 (40~50%混)</p> | <p>p299・p300
 A層: 10YR4/3 にぶい黄褐色
 しまる 粘性あり 地山粒~
 ブロック40~50%混
 (黒褐色土との混土)
 ※径15~20cm程の柱根
 B層: 10YR2/1 黒色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック20%混</p> |
|---|--|---|---|--|

- | | | | | |
|--|--|---|--|---|
| <p>p316
 A層: 10YR4/4 褐色 固くしまる
 粘性強い</p> | <p>p324・p325
 A層: 10YR2/1 黒色 ややしまる
 粘性ややあり
 地山粒~ブロック10%混
 ※径15cmの柱痕
 A1層: 10YR4/4 褐色 しまる
 粘性あり 炭粒若干混
 地山粒~ブロック塊状に30%混
 A2層: 10YR3/3 暗褐色 粘性ややあり
 地山粒~ブロック20~30%混</p> | <p>p346
 A層: 10YR3/2 黒褐色
 ややしまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック20%混
 炭粒若干混 径15cmの柱痕
 B層: 10YR4/4 褐色 しまる
 粘性あり 地山粒~ブロック
 40%混</p> | <p>p359
 A層: 10YR3/1 黒褐色 ややしまる
 粘性ややあり 地山粒~ブロック20%混
 炭粒若干混 ※径12cm深10cmの柱痕
 B層: 10YR4/6 褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック主体(50%混)</p> | <p>p361
 A1層: 10YR4/3 にぶい黄褐色
 ややしまる 粘性あり
 黄褐色地山粒~ブロックを
 20~30%混 炭粒若干混
 A2層: 10YR3/2 黒褐色 しまり弱い
 粘性弱い 炭粒若干混</p> |
|--|--|---|--|---|

- | | | | | |
|--|--|---|--|--|
| <p>p405
 A1層: 10YR4/2 灰黄褐色
 ややしまる 粘性あり
 地山ブロック(灰白~黄褐色)
 を40~50%混
 (黒褐色土との混土)
 A2層: 10YR3/1 黒褐色 しまる
 粘性ややあり
 地山粒~ブロックを
 30~40%混</p> | <p>p419
 A層: 10YR4/2 灰黄褐色
 ややしまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック30%混 炭粒若干混
 中位にコシメタの礫1個混入
 ※径15cmの柱痕
 B層: 10YR6/6 明黄褐色
 しまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック主体
 (70~80%混)</p> | <p>1号焼土 (p189・p190・p202)
 p189
 A1層: 10YR3/3 暗褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック若干混
 A2層: 10YR2/2 黒褐色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック20%混
 p190
 A'層: 2.5YR2/8 明赤褐色 しまる 粘性あり
 焼土ブロック主体(80~90%混)
 地山粒・炭粒若干混
 B'層: 10YR1.7/1 黒色 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック20~30%混
 焼土粒~ブロック若干混
 底面に径8cm程の柱痕様くぼみあり
 p202
 A1層: 10YR3/1 黒褐色 しまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック20~30%混
 炭粒若干混
 A2層: 10YR2/1 黒色 ややしまる
 地山粒~ブロック若干混</p> | <p>2号焼土
 A層: 2.5YR3/2 暗褐色
 固くしまる 粘性あり
 焼土粒~ブロック30~40%混
 炭粒~ブロック若干混
 地山粒~ブロック若干混
 (黒褐色土との混土)
 B層: 10YR3/1 黒褐色
 しまる 粘性あり
 地山粒~ブロック20~30%混
 焼土粒及び炭粒若干混</p> | <p>3号焼土
 A1層: 2.5YR4/4 にぶい赤褐色
 固くしまる 粘性あり
 焼土粒~ブロック60~70%混
 炭粒・地山粒若干混
 A2層: 10YR4/3 にぶい黄褐色
 しまる 粘性ややあり
 地山粒~ブロック30%混
 炭粒・焼土粒若干混</p> |
|--|--|---|--|--|

第14図 土坑・柱穴・ピット・焼土断面

ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)	ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット1	B1	22 × 20	44.0	81.638	ビット117	C5	40 × 38	57.0	81.605
ビット2	B1	(20 × 20)	30.0	81.917	ビット118	C5	43 × 36	63.0	81.570
ビット3	C1	34 × 30	40.0	81.810	ビット119	C5	43 × 40	50.0	81.628
ビット4	C1	28 × 24	22.0	81.952	ビット120	C5	40 × 38	39.0	81.783
ビット5	C1	29 × 26	35.0	81.849	ビット121	D5	19 × 16	-	-
ビット6	C1	36 × 31	42.0	81.769	ビット122	D5	33 × 30	41.0	81.829
ビット7	C1	(35 × 30)	47.0	81.492	ビット123	D5	(35 × 25)	26.0	81.980
ビット8	C1	33 × 30	29.0	81.845	ビット124	D5	(20 × 13)	-	-
ビット9	C1	27 × 21	23.0	81.964	ビット125	D5	57 × 51	45.0	81.757
ビット10	C1	37 × 36	83.0	81.388	ビット126	D5	74 × 50	42.0	81.799
ビット11	D1	24 × 20	32.0	81.851	ビット127	D5	35 × 34	39.0	81.811
ビット12	D1	45 × 22	31.0	82.059	ビット128	D5	54 × 50	53.0	81.717
ビット13	D1	28 × 27	25.0	81.816	ビット129	D5	39 × 31	43.0	81.813
ビット14	D1	43 × 30	24.0	81.974	ビット130	D5	40 × 27	25.0	81.993
ビット15	D1	29 × 27	35.0	81.864	ビット131	D5	39 × 38	87.0	81.375
ビット16	D1	34 × 32	65.0	81.565	ビット132	D5	36 × 35	29.0	81.952
ビット17	D1	34 × 33	61.0	81.611	ビット133	D5	34 × 23	33.0	81.750
ビット18	D1	32 × 30	27.0	81.956	ビット134	D5	50 × 38	57.0	81.664
ビット19	D1	38 × 31	50.0	81.742	ビット135	D5	26 × 25	28.0	81.831
ビット20	B2	27 × 23	18.0	81.953	ビット136	D5	40 × 38	69.0	81.555
ビット21	B2	36 × 30	16.0	82.020	ビット137	D5	31 × 30	39.0	81.822
ビット22	B2	33 × 27	23.0	81.945	ビット138	D5	44 × 42	21.0	82.036
ビット23	B2	54 × 45	23.0	81.904	ビット139	D5	44 × 39	56.0	81.704
ビット24	B2	40 × 36	23.0	81.702	ビット140	D5	65 × 47	26.0	82.000
ビット25	B2	32 × 31	27.0	81.816	ビット141	D5	40 × 30	70.0	81.564
ビット26	B2	18 × 17	18.0	81.894	ビット142	D5	38 × 35	21.0	82.057
ビット27	B2	47 × 23	28.0	81.746	ビット143	D5	45 × 40	30.0	81.962
ビット28	C2	31 × 26	29.0	81.954	ビット144	D5	40 × 30	62.0	81.639
ビット29	C2	54 × 34	48.0	81.727	ビット145	A6	(25 × 15)	25.0	81.809
ビット30	C2	38 × 34	59.0	81.588	ビット146	A6	(24 × 12)	25.0	81.827
ビット31	C2	45 × 30	44.0	81.744	ビット147	A6	30 × 28	39.0	81.682
ビット32	C2	39 × 34	38.0	81.815	ビット148	A6	24 × 20	26.0	81.797
ビット33	C2	26 × 24	16.0	82.039	ビット149	A6	(18 × 17)	23.0	81.836
ビット34	C2	21 × 20	28.0	81.972	ビット150	B6	35 × 28	30.0	81.758
ビット35	C2	40 × 27	40.0	81.859	ビット151	B6	41 × 37	32.0	81.758
ビット36	C2	35 × 34	29.0	81.840	ビット152	B6	29 × 25	40.0	81.666
ビット37	C2	26 × 20	23.0	82.033	ビット153	B6	38 × 34	37.0	81.721
ビット38	C2	28 × 25	15.0	82.069	ビット154	B6	27 × 26	44.0	81.660
ビット39	C2	35 × 34	38.0	81.850	ビット155	B6	23 × 12	15.0	81.915
ビット40	C2	44 × 35	19.0	82.052	ビット156	B6	43 × 36	48.0	81.603
ビット41	C2	30 × 28	30.0	81.815	ビット157	B6	26 × 24	31.0	81.895
ビット42	C2	36 × 34	48.0	81.629	ビット158	B6	37 × 36	37.0	81.728
ビット43	D2	40 × 37	55.0	81.717	ビット159	B6	32 × 30	29.0	81.789
ビット44	D2	38 × 30	67.0	81.575	ビット160	B6	30 × 26	72.0	81.408
ビット45	D2	35 × 34	30.0	81.836	ビット161	B6	26 × 51	51.0	81.618
ビット46	D2	15 × 14	28.0	81.871	ビット162	B6	30 × 28	13.0	81.929
ビット47	D2	47 × 27	33.0	81.860	ビット163	B6	24 × 22	13.0	81.932
ビット48	D2	41 × 27	41.0	81.785	ビット164	B6	28 × 26	17.0	81.900
ビット49	B3	44 × 34	33.0	81.607	ビット165	B6	40 × 26	12.0	81.957
ビット50	B3	60 × 40	24.0	81.762	ビット166	B6	33 × 30	21.0	81.904
ビット51	B3	33 × 29	61.0	81.469	ビット167	C6	20 × 15	26.0	81.787
ビット52	C3	45 × 30	35.0	81.826	ビット168	C6	40 × 30	49.0	81.776
ビット53	C3	35 × 31	31.0	81.826	ビット169	C6	20 × 16	26.0	81.699
ビット54	C3	38 × 30	34.0	81.754	ビット170	C6	40 × 30	26.0	81.918
ビット55	C3	55 × 44	71.0	81.415	ビット171	C6	30 × 25	20.0	81.826
ビット56	C3	47 × 43	37.0	81.820	ビット172	C6	35 × 20	26.0	82.064
ビット57	C3	20 × 17	23.0	81.814	ビット173	C6	24 × 20	22.0	81.869
ビット58	C3	22 × 21	29.0	81.737	ビット174	C6	42 × 40	28.0	81.806
ビット59	C3	27 × 25	31.0	81.758	ビット175	C6	42 × 34	36.0	81.768
ビット60	D3	24 × 23	43.0	81.659	ビット176	C6	40 × 30	89.0	81.231
ビット61	D3	32 × 30	42.0	81.671	ビット177	C6	47 × 26	46.0	81.689
ビット62	D3	45 × 35	29.0	82.130	ビット178	C6	50 × 43	50.0	81.648
ビット63	D3	30 × 29	61.0	81.605	ビット179	C6	44 × 36	65.0	81.516
ビット64	D3	32 × 31	23.0	81.988	ビット180	C6	45 × 41	38.0	81.842
ビット65	D3	50 × 26	34.0	81.851	ビット181	C6	36 × 30	25.0	81.948
ビット66	D3	55 × 40	12.0	82.085	ビット182	C6	50 × 49	34.0	81.859
ビット67	D3	25 × 20	18.0	82.027	ビット183	C6	44 × 30	57.0	81.557
ビット68	D3	24 × 20	44.0	81.762	ビット184	C6	70 × 69	48.0	81.659
ビット69	B4	45 × 40	36.0	81.769	ビット185	C6	56 × 46	61.0	81.557
ビット70	B4	35 × 34	37.0	81.739	ビット186	C6	65 × 55	16.0	82.013
ビット71	B4	38 × 37	31.0	81.746	ビット187	C6	50 × 40	55.0	81.627
ビット72	B4	24 × 15	20.0	81.850	ビット188	C6	62 × 56	48.0	81.712
ビット73	B4	34 × 22	15.0	81.803	ビット189	C6	25 × 23	30.0	81.902
ビット74	B4	40 × 39	58.0	81.436	ビット190	C6	73 × 50	27.0	81.970
ビット75	B4	40 × 34	78.0	81.296	ビット191	D6	40 × 37	49.0	81.735
ビット76	C4	33 × 23	19.0	81.901	ビット192	D6	45 × 35	41.0	81.846
ビット77	C4	40 × 34	25.0	81.869	ビット193	D6	42 × 35	67.0	81.581
ビット78	C4	30 × 29	56.0	81.569	ビット194	D6	50 × 35	82.0	81.439
ビット79	C4	43 × 30	15.0	81.987	ビット195	D6	45 × 41	26.0	81.989
ビット80	C4	50 × 47	41.0	81.679	ビット196	D6	48 × 35	26.0	82.018
ビット81	C4	31 × 30	38.0	81.722	ビット197	D6	40 × 39	62.0	81.650
ビット82	C4	60 × 50	24.0	81.881	ビット198	D6	38 × 32	84.0	81.387
ビット83	C4	50 × 34	71.0	81.387	ビット199	D6	47 × 37	52.0	81.723
ビット84	C4	45 × 25	43.0	81.638	ビット200	D6	50 × 40	33.0	81.923
ビット85	C4	33 × 30	33.0	81.818	ビット201	D6	45 × 37	68.0	81.552
ビット86	C4	42 × 34	53.0	81.623	ビット202	D6	52 × 43	65.0	81.621
ビット87	C4	44 × 38	67.0	81.509	ビット203	D6	53 × 48	44.0	81.782
ビット88	D4	40 × 25	18.0	81.936	ビット204	D6	60 × 58	18.0	82.090
ビット89	D4	(50 × 28)	46.0	81.618	ビット205	D6	(43 × 42)	71.0	81.559
ビット90	D4	48 × 30	46.0	81.750	ビット206	D6	47 × 46	60.0	81.656
ビット91	D4	54 × 47	23.0	82.014	ビット207	D6	67 × 40	110.0	81.169
ビット92	D4	42 × 40	41.0	81.837	ビット208	D6	45 × 37	64.0	81.626
ビット93	D4	35 × 24	58.0	81.635	ビット209	D6	43 × 40	62.0	81.632
ビット94	D4	30 × 20	13.0	82.101	ビット210	D6	51 × 46	66.0	81.609
ビット95	D4	35 × 30	40.0	81.836	ビット211	D6	25 × 23	20.0	82.065
ビット96	B5	40 × 27	57.0	81.452	ビット212	D6	59 × 51	55.0	81.709
ビット97	B5	43 × 40	77.0	81.286	ビット213	B7	34 × 33	31.0	81.815
ビット98	B5	30 × 25	26.0	81.813	ビット214	B7	34 × 32	49.0	81.642
ビット99	B5	39 × 25	24.0	81.792	ビット215	B7	46 × 40	24.0	81.884
ビット100	B5	37 × 30	69.0	81.345	ビット216	B7	27 × 25	11.0	82.011
ビット101	C5	44 × 30	49.0	81.585	ビット217	B7	34 × 33	37.0	81.661
ビット102	C5	37 × 35	34.0	81.741	ビット218	B7	43 × 32	46.0	81.718
ビット103	C5	47 × 38	35.0	81.739	ビット219	B7	34 × 27	43.0	81.700
ビット104	C5	34 × 32	64.0	81.510	ビット220	B7	30 × 20	20.0	81.973
ビット105	C5	45 × 30	12.0	82.080	ビット221	B7	33 × 31	20.0	81.912
ビット106	C5	52 × 32	23.0	81.954	ビット222	B7	30 × 27	10.0	82.028
ビット107	C5	53 × 45	29.0	81.896	ビット223	B7	49 × 46	55.0	81.585
ビット108	C5	50 × 33	34.0	81.609	ビット224	B7	24 × 20	25.0	81.879
ビット109	C5	43 × 30	30.0	81.650	ビット225	B7	33 × 23	20.0	81.930
ビット110	C5	33 × 28	72.0	81.433	ビット226	B7	30 × 29	31.0	81.821
ビット111	C5	38 × 30	41.0	81.745	ビット227	B7	34 × 31	26.0	81.873
ビット112	C5	29 × 26	28.0	81.763	ビット228	C7	62 × 56	40.0	81.791
ビット113	C5	38 × 35	62.0	82.009	ビット229	C7	80 × 60	42.0	81.815
ビット114	C5	29 × 26	41.0	81.645	ビット230	C7	46 × 34	21.0	81.961
ビット115	C5	27 × 25	37.0	81.694	ビット231	C7	43 × 35	42.0	81.759
ビット116	C5	38 × 37	60.0	81.550	ビット232	C7	36 × 35	42.0	81.726

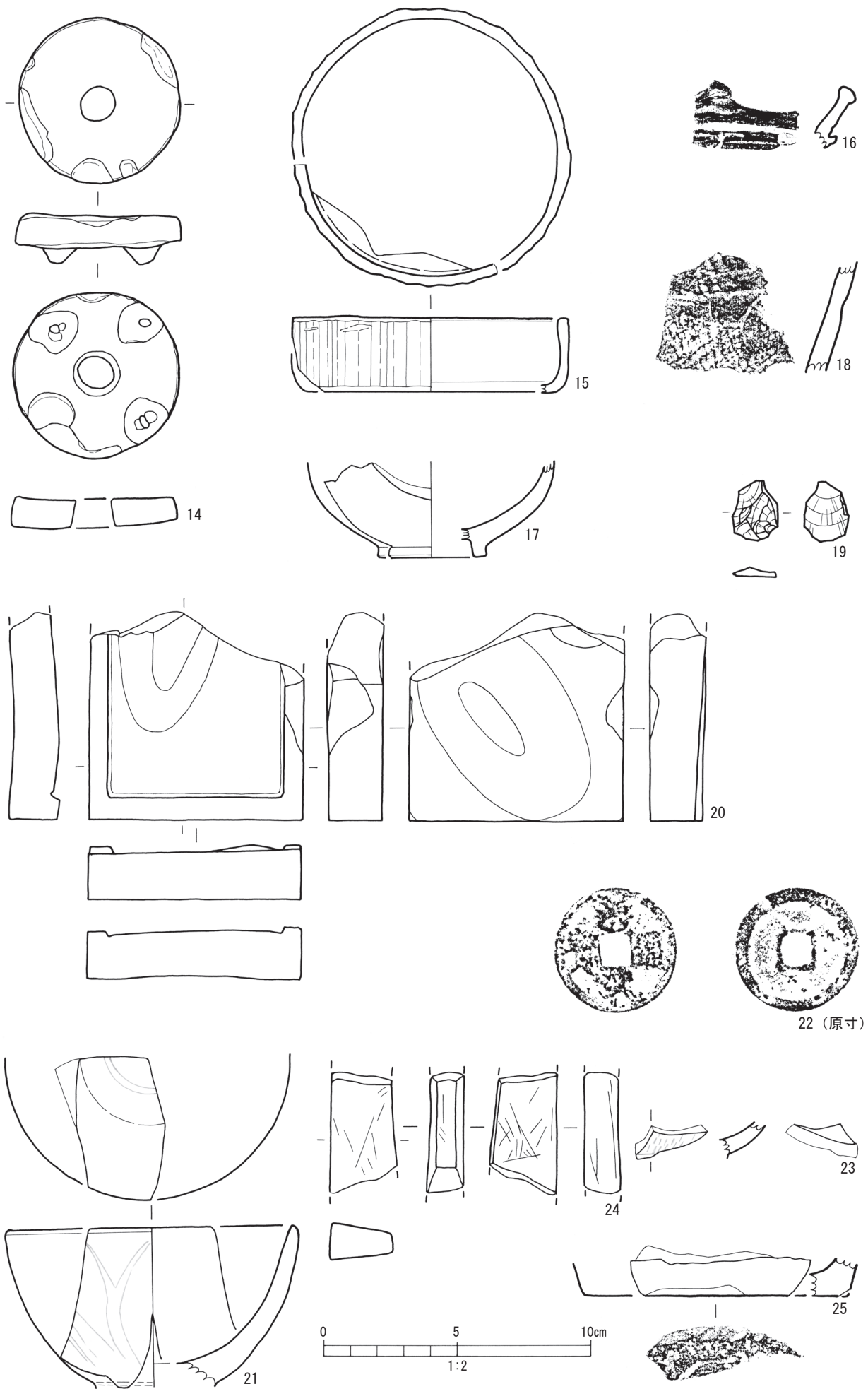
表1 土坑・柱穴計測表(1)

ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット233	C7	40 × 30	45.0	81.722
ビット234	C7	54 × 53	52.0	81.671
ビット235	C7	47 × 30	89.0	81.301
ビット236	C7	42 × 32	47.0	81.706
ビット237	C7	46 × 33	30.0	81.933
ビット238	C7	43 × 42	48.0	81.695
ビット239	C7	32 × 24	10.0	81.640
ビット240	C7	37 × 36	43.0	81.779
ビット241	C7	35 × 34	51.0	81.509
ビット242	C7	44 × 43	29.0	81.935
ビット243	C7	37 × 36	41.0	81.761
ビット244	D7	43 × 38	51.0	81.731
ビット245	D7	45 × 25	29.0	81.962
ビット246	D7	49 × 34	61.0	81.774
ビット247	D7	50 × 43	72.0	81.666
ビット248	D7	(58 × 43)	58.0	81.707
ビット249	D7	50 × 30	64.0	81.618
ビット250	D7	53 × 35	89.0	81.367
ビット251	D7	57 × 39	28.0	81.989
ビット252	D7	71 × 54	42.0	81.863
ビット253	D7	32 × 31	28.0	81.956
ビット254	D7	37 × 32	54.0	81.724
ビット255	D7	56 × 49	60.0	81.692
ビット256	D7	32 × 30	38.0	81.879
ビット257	D7	34 × 33	39.0	81.864
ビット258	D7	74 × 68	81.0	81.456
ビット259	D7	60 × 50	42.0	81.848
ビット260	D7	62 × 47	26.0	82.015
ビット261	D7	40 × 30	61.0	81.619
ビット262	D7	28 × 24	17.0	82.048
ビット263	D7	60 × 30	49.0	81.761
ビット264	D7	50 × 25	67.0	81.589
ビット265	D7	39 × 28	30.0	81.989
ビット266	D7	57 × 44	50.0	81.731
ビット267	D7	39 × 36	61.0	81.684
ビット268	D7	50 × 40	39.0	81.895
ビット269	D7	40 × 25	45.0	81.839
ビット270	D7	30 × 20	17.0	82.121
ビット271	D7	(50 × 45)	39.0	81.898
ビット272	B8	42 × 35	19.0	81.955
ビット273	B8	34 × 26	64.0	81.476
ビット274	B8	28 × 20	15.0	81.996
ビット275	B8	35 × 30	47.0	81.646
ビット276	B8	40 × 34	45.0	81.665
ビット277	B8	26 × 25	72.0	81.397
ビット278	B8	19 × 15	10.0	82.062
ビット279	B8	32 × 30	21.0	81.891
ビット280	B8	38 × 30	43.0	81.642
ビット281	B8	28 × 24	25.0	81.878
ビット282	B8	30 × 25	38.0	81.770
ビット283	C8	40 × 34	22.0	81.966
ビット284	C8	38 × 35	41.0	81.625
ビット285	C8	55 × 45	35.0	81.835
ビット286	C8	35 × 33	51.0	81.652
ビット287	C8	35 × 10	16.0	81.989
ビット288	C8	45 × 28	26.0	81.887
ビット289	C8	40 × 28	58.0	81.563
ビット290	C8	39 × 27	41.0	81.701
ビット291	C8	26 × 20	27.0	81.855
ビット292	C8	30 × 27	26.0	81.889
ビット293	C8	38 × 36	46.0	81.678
ビット294	C8	40 × 37	54.0	81.591
ビット295	C8	45 × 40	42.0	81.803
ビット296	C8	55 × 45	43.0	81.785
ビット297	C8	40 × 25	33.0	81.888
ビット298	C8	40 × 37	12.0	82.065
ビット299	C8	57 × 66	66.0	81.556
ビット300	C8	58 × 57	57.0	81.645
ビット301	C8	27 × 24	23.0	81.910
ビット302	C8	32 × 26	31.0	81.816
ビット303	C8	30 × 29	28.0	81.931
ビット304	C8	30 × 23	23.0	81.984
ビット305	C8	42 × 40	53.0	81.594
ビット306	C8	40 × 39	56.0	81.597
ビット307	C8	37 × 30	70.0	81.520
ビット308	C8	20 × 18	26.0	81.898
ビット309	C8	30 × 27	21.0	81.959
ビット310	C8	44 × 36	87.0	81.311
ビット311	D8	50 × 40	52.0	81.711
ビット312	D8	35 × 29	49.0	81.799
ビット313	D8	72 × 46	60.0	81.665
ビット314	D8	54 × 49	50.0	81.795
ビット315	D8	50 × 40	25.0	81.996
ビット316	D8	60 × 58	53.0	81.741
ビット317	D8	33 × 30	12.0	82.157
ビット318	D8	30 × 25	44.0	81.806
ビット319	D8	45 × 42	34.0	81.941
ビット320	D8	43 × 33	51.0	81.776
ビット321	D8	26 × 25	18.0	82.119
ビット322	D8	40 × 37	64.0	81.660
ビット323	D8	(40 × 20)	60.0	81.609
ビット324	D8	28 × 20	28.0	82.020
ビット325	D8	49 × 37	57.0	81.724
ビット326	D8	27 × 25	65.0	81.631
ビット327	D8	35 × 29	52.0	81.768
ビット328	D8	25 × 23	23.0	82.022
ビット329	D8	37 × 34	24.0	81.873
ビット330	D8	18 × 17	15.0	82.128
ビット331	D8	35 × 30	41.0	81.900
ビット332	D8	28 × 12	12.0	82.170
ビット333	D8	(37 × 21)	78.0	81.526
ビット334	D8	28 × 26	18.0	82.095
ビット335	D8	45 × 42	92.0	81.370
ビット336	D8	43 × 27	48.0	81.804
ビット337	D8	26 × 18	66.0	81.634
ビット338	D8	42 × 30	27.0	82.023
ビット339	D8	(28 × 23)	44.0	81.848
ビット340	D8	44 × 40	62.0	81.664
ビット341	D8	37 × 32	44.0	81.852
ビット342	D8	35 × 30	40.0	81.873
ビット343	D8	32 × 28	35.0	81.924
ビット344	D8	30 × 27	32.0	81.969
ビット345	D8	52 × 44	50.0	81.778
ビット346	B9	46 × 45	28.0	81.797
ビット347	B9	24 × 20	19.0	81.888
ビット348	B9	29 × 19	20.0	81.873

ビットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット349	C9	32 × 27	53.0	81.630
ビット350	C9	31 × 21	32.0	81.665
ビット351	C9	34 × 25	49.0	81.758
ビット352	C9	42 × 32	35.0	81.890
ビット353	C9	40 × 34	18.0	81.920
ビット354	C9	41 × 35	21.0	81.886
ビット355	C9	50 × 39	30.0	81.933
ビット356	C9	40 × 34	29.0	81.788
ビット357	C9	35 × 25	29.0	81.764
ビット358	C9	46 × 45	15.0	81.910
ビット359	C9	34 × 30	18.0	81.881
ビット360	C9	31 × 30	18.0	81.902
ビット361	C9	31 × 30	70.0	81.392
ビット362	D9	22 × 15	18.0	82.091
ビット363	D9	28 × 21	20.0	82.075
ビット364	D9	27 × 25	53.0	81.759
ビット365	D9	26 × 25	20.0	81.806
ビット366	D9	36 × 31	66.0	81.614
ビット367	D9	40 × 37	55.0	81.763
ビット368	D9	32 × 28	51.0	81.765
ビット369	D9	25 × 24	38.0	81.897
ビット370	D9	21 × 18	15.0	82.126
ビット371	D9	29 × 27	34.0	81.951
ビット372	D9	(26 × 23)	48.0	81.827
ビット373	D9	33 × 30	18.0	82.078
ビット374	D9	30 × 29	52.0	81.780
ビット375	D9	23 × 22	13.0	82.155
ビット376	D9	27 × 25	26.0	82.039
ビット377	D9	20 × 18	24.0	82.059
ビット378	D9	18 × 12	16.0	82.118
ビット379	D9	38 × 36	18.0	82.097
ビット380	D9	19 × 9	21.0	82.285
ビット381	D9	38 × 30	44.0	81.856
ビット382	D9	42 × 31	18.0	82.166
ビット383	D9	29 × 22	13.0	81.960
ビット384	D9	41 × 33	33.0	81.969
ビット385	D9	27 × 24	25.0	82.026
ビット386	D9	47 × 42	47.0	81.832
ビット387	D9	47 × 45	70.0	81.651
ビット388	D9	32 × 27	30.0	81.995
ビット389	D9	30 × 29	19.0	82.106
ビット390	D9	29 × 24	42.0	81.856
ビット391	D9	19 × 15	14.0	82.155
ビット392	D9	20 × 19	16.0	82.060
ビット393	D9	38 × 36	39.0	81.966
ビット394	D9	40 × 32	52.0	81.835
ビット395	D9	35 × 30	46.0	81.885
ビット396	D9	43 × 40	58.0	81.686
ビット397	D9	18 × 16	80.0	81.50
ビット398	D9	19 × 18	38.0	81.914
ビット399	D9	37 × 35	40.0	81.903
ビット400	D9	37 × 35	45.0	81.895
ビット401	D9	23 × 18	11.0	82.211
ビット402	B10	47 × 26	-	-
ビット403	B10	(28 × 24)	30.0	81.917
ビット404	B10	(28 × 23)	74.0	81.685
ビット405	C10	19 × 15	14.0	81.076
ビット406	C10	40 × 34	-	-
ビット407	C10	29 × 26	77.0	81.975
ビット408	C10	18 × 17	10.0	82.154
ビット409	C10	31 × 21	16.0	82.068
ビット410	C10	17 × 16	10.0	82.047
ビット411	C10	20 × 19	15.0	82.047
ビット412	C10	24 × 23	14.0	82.016
ビット413	C10	27 × 24	10.0	82.039
ビット414	C10	(27 × 14)	14.0	82.036
ビット415	D10	29 × 27	17.0	82.096
ビット416	D10	38 × 32	38.0	81.915
ビット417	D10	21 × 16	7.0	82.245
ビット418	D10	28 × 27	17.0	82.120
ビット419	D10	38 × 34	44.0	81.849
ビット420	D10	50 × 34	31.0	82.073
ビット421	D10	35 × 29	31.0	82.022
ビット422	D10	30 × 26	16.0	82.112
ビット423	D10	32 × 30	20.0	82.065
ビット424	D10	28 × 21	30.0	81.972
ビット425	D10	30 × 29	22.0	82.055
ビット426	D10	29 × 23	15.0	82.123
ビット427	D10	29 × 24	68.0	82.114
ビット428	D10	47 × 35	11.0	82.155
ビット429	D10	35 × 24	24.0	82.015
ビット430	D10	32 × 24	15.0	82.093
ビット431	D10	22 × 17	14.0	82.056
ビット432	D10	(22 × 11)	4.0	82.169
ビット433	D10	(25 × 18)	14.0	82.064
ビット434	D10	(22 × 19)	20.0	82.047
ビット435	D10	(25 × 19)	13.0	82.175
ビット436	D10	35 × 30	22.0	82.055

土坑No.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
1号土坑	B5	108 × 85	64.0	81.387
2号土坑	B5	105 × 103	53.0	81.512
3号土坑	B7	100 × 94	36.0	82.583
4号土坑	B9	93 × 70	64.0	81.765
5号土坑	D9	102 × 83	58.0	80.929

表 1 土坑・柱穴計測表 (2)



第15図 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物

■土器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	器種	部位	計測値			器面調整等			備考	
								口径(mm)	底径(mm)	器高(mm)	外面	内面	底部裏		
10	2	001	1号竪穴建物	南半	A2層	土師器	坏	体	—	—	(30)	ヘラナデ	ヘラナデ	—	ロク口使用
10	3	002	1号竪穴建物	南半	A2層	土師器	坏	体	—	—	(23)	ヘラナデ	ヘラナデ	—	ロク口使用
10	4	003	1号竪穴建物	北半	C層	土師器	甕	胴	—	—	(31)	ハケメ	ナデ	—	
10	5	004	1号竪穴建物	北半	埋土	土師器	甕	胴	—	—	(22)	ハケメ	—	—	
10	6	009	1号竪穴建物	南半	A2層	縄文土器	深鉢	口縁	—	—	(20)	—	—	—	
10	7	008	1号竪穴建物	南半	A2層	縄文土器	深鉢	底	—	(40)	(12)	—	—	—	
10	9	006	2号竪穴建物	北西区	B層	須恵器	大甕	底?	—	—	(42)	—	—	—	外面・平行タタキ
10	11	007	2号竪穴建物	北東部	A1層	須恵器	大甕	胴	—	—	(32)	—	—	—	外面・平行タタキ
10	12	005	3号竪穴建物	北東区ベルト南側	検出面	須恵器	瓶	胴~底	—	—	(55)	—	—	—	
10	13	010	4号竪穴建物	南東隅	床面	縄文土器	深鉢	胴	—	—	(43)	—	—	—	LR横
15	16	011	2号溝	D5付近	上層	縄文土器	鉢	口縁	—	—	(23)	—	—	—	弥生?
15	18	012	p80	—	上層	縄文土器	深鉢	胴	—	—	(43)	—	—	—	地文(不整)
15	25	013	C2	東半攪乱	検出面	縄文土器	深鉢	底	—	(106)	(19)	—	—	—	

■土製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				備考
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
15	14	201	1号溝	埋土	脚付き焼き台	19	62	19	62.7	窯道具

■石器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				石材	産地	分類	備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)					
10	10	301	2号竪穴建物	南東部	検出面	石鏃	43	11	5	2.1	—	—	—	棒状
15	19	302	p32	—	中位	剥片	22	16	3	1.3	頁岩	—	—	

■石製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				石材	産地	分類	備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)					
15	20	401	p128	—	埋土	硯	(70)	80	21	154.4	—	—	—	陸部片
15	24	403	D8	P320・P326間	Ⅲ層上	砥石	(45)	(25)	(14)	22.4	—	—	—	

■陶磁器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	器種	部位	部位	産地	計測値			器面調整等			備考	
									口径(mm)	底径(mm)	器高(mm)	外面	内面	底部裏		
10	1	501	1号竪穴建物	南半	A2層	陶器	甕	胴	常滑?	—	—	(40)	—	—	—	中世
10	8	502	2号竪穴建物	南東区東壁寄	B2層	陶器	鉢?	口縁	—	—	—	(25)	—	—	—	瓦質
15	15	506	1号溝	南半	埋土	磁器	皿?	口縁	不明	(104)	(94)	28	—	—	—	近代以降
15	17	503	D3	攪乱南半	下層	磁器	碗	体~底	大堀相馬	—	(40)	(36)	—	—	—	18C
15	21	504	p323	東端調査区境	下層	青磁	碗	口縁~底	中国	(110)	(44)	(62)	—	—	—	14C
15	23	505	D3	1号溝・2号溝間	—	磁器	碗(湯呑)	体	不明	—	—	(12)	—	—	—	近代以降・鎬連弁文

■金属製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)		
15	22	601	p202	北壁	下層	洪武通寶	20	20	2	2.2	

表2 出土遺物観察表

V. まとめ

〔中世の遺構・遺物〕今回、上館遺跡では初となる中世に属する竪穴建物跡が4棟、一部重複しながら検出されたこと、また多数検出された柱穴群の一部の埋土中より中世の遺物が出土したことから、周辺一帯が中世城館・上館として利用されていたことが明確になった。この柱穴群は数棟の掘立柱建物跡を構成すると推定されるものであり、調査区東側には建物群（掘立柱建物跡）、一方調査区西側～南側にかけては倉庫群（竪穴建物跡）というように場所によって土地利用に違いが認められる。これは、昭和47年に東北縦貫自動車道関連で発掘調査された古館遺跡（現：古館Ⅲ遺跡）他の掘立柱建物跡と竪穴建物跡の配置状況を例にとれば、館跡一郭の北半には倉庫や工房跡・南半には殿舎等の建物跡というようにまとまった配置をとる可能性があり、今回の調査区について言えば館跡の西半にあたることが想定されるもので、調査区外の西～南方面に一郭を限る堀跡や沢状地形が存在する蓋然性が高い。

なお、東側隣接地において平成25年度調査時にSD01とSI01・SI03間で確認された西側及び南側に庇の付く東西棟とみられる大型の掘立柱建物跡（東西20m・南北12m以上）は、その位置や規模からみて館跡の主要建物の一つである可能性が考えられる。

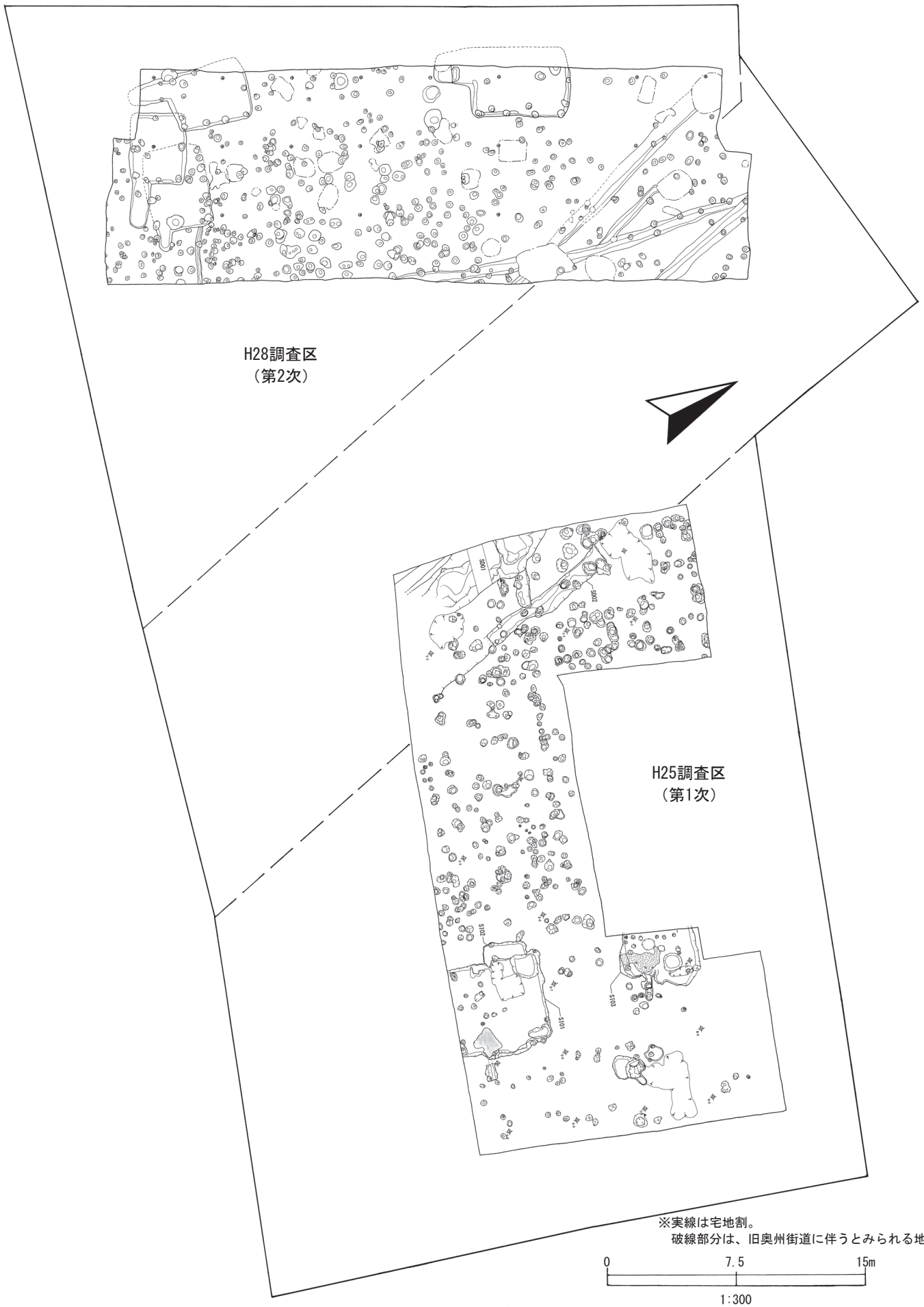
出土遺物が少なく判然としないが、掘立柱建物跡には14世紀代の時期が想定できるものが含まれ、また掘立柱建物跡を構成する柱穴の切り合い状況や竪穴建物跡の重複状況等からみて少なくとも2～3期の時期変遷が存在するとみられるため、このことについて今後は周辺域の調査により検証していきたい。

〔近世の遺構・遺物〕江戸時代初期（17世紀代）に道中の松並木とともに整備された「奥州街道」（五街道の一つで、江戸日本橋を起点に津軽外が浜以北へ続く南北の主要道）に関わる地割（幅員16～17m）に沿った区画溝もしくは側溝とみられる溝跡が2条以上検出された。一般的に、奥州街道の幅員は3間（5.4m）前後とされている（板橋源・佐々木博康著『北上市一里塚』）ため、この地割幅は道路本体に加え両側の並木及び緩衝地帯等を含めたものと推定できる。今次調査で検出された4号溝とH25調査時のSD02溝跡はそれぞれこの地割とほぼ一致している。一方で、今次調査で確認された1号溝は、4号溝の5～5.6m（約3間前後）程西側（内側）にあり、道路本体の西側側溝の可能性が高い。さらに、C2及びD3グリッド付近で確認された木根状の攪乱は、位置からみて現存しない旧松並木の西側列である可能性が高く、またA2・B2間及びD4グリッド付近の攪乱も植え替え等に伴う同様のものである可能性がある。今回、部分的な調査につき明らかに出来なかった街道の全体的な構造の解明や街道近辺に所在すると想定される近世の建物跡等の検討についても、今後の周辺部調査により検証を続けていきたい。

関連事項として、南は現在の市立南城小学校敷地付近から北は館跡北側を限る堀跡とみられる沢までの区間は段丘東縁を旧国道が通っているが、これは昭和時代に新たに切り替えられたものであり、それ以前は今次調査区を通りくの字状に屈曲し、その中程で岩崎道（古道）と交差していたものであることが、一帯に残された地割や今次の調査成果、さらに小学校敷地内周辺に現存する市指定文化財「奥州街道名残りの松」の所在等からも明らかになった。

〈主要参考文献〉

- ・中川久夫他(1963b)「北上川中流域の第四系および地形 北上川流域の第四紀地史(2)」『地質学雑誌 第96巻 第811』
- ・渡辺満久(1991)「北上低地帯における河成段丘面の編年および後期更新世における岩屑供給」『第四紀研究 第30巻 第1号』
- ・小岩直人(2001)「花巻市および宿内遺跡周辺の地形」『花巻市埋蔵文化財調査報告書 第26集 宿内遺跡』
- ・(有)高橋重機・花巻市教育委員会(2014)『花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第17集 特別養護老人ホーム建設関連遺跡発掘調査報告書 平成25年度調査 上館遺跡』



第16図 H25（第1次）調査区と今回の調査区



遺跡遠景（東から）



調査前現況（南から）

写真図版 1 調査区遠景ほか



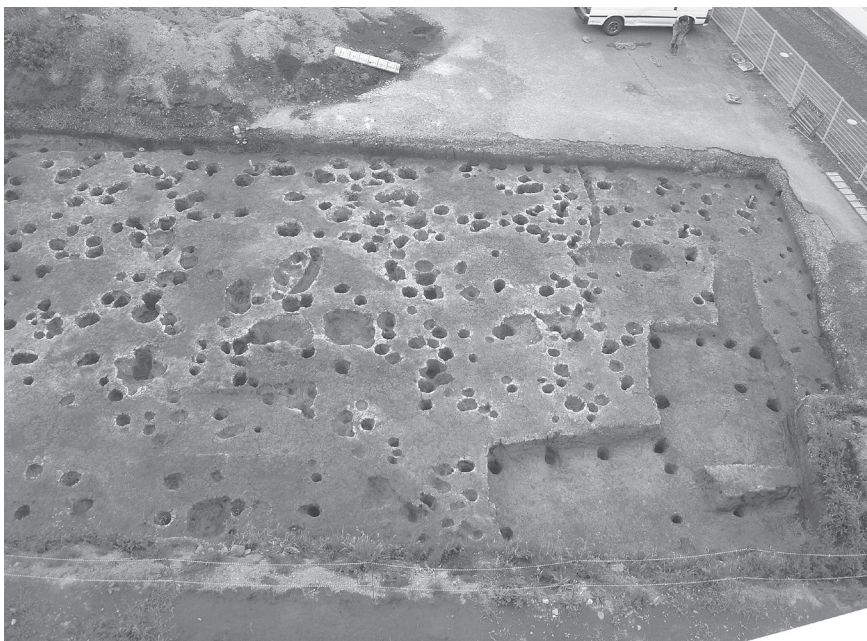
北半の遺構検出状況（南西から）



南半の遺構検出状況（南西から）

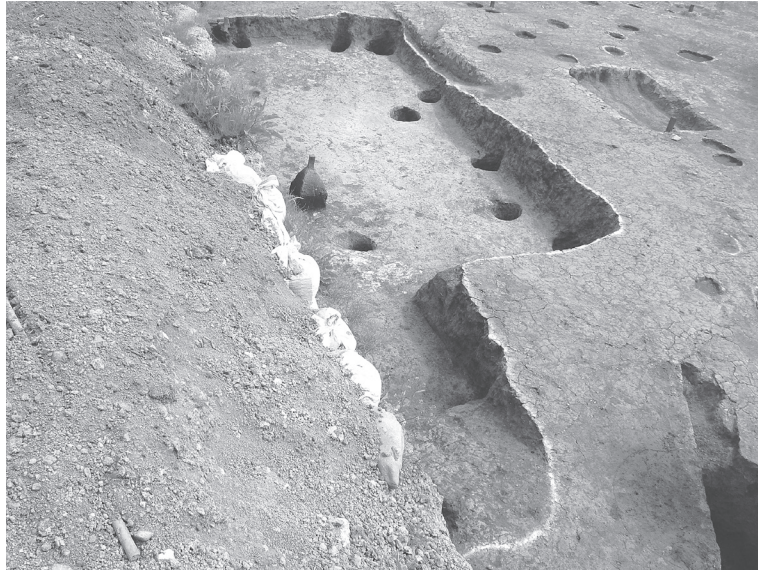


北半の完掘後全景（南西から）



南半の完掘後全景（南西から）

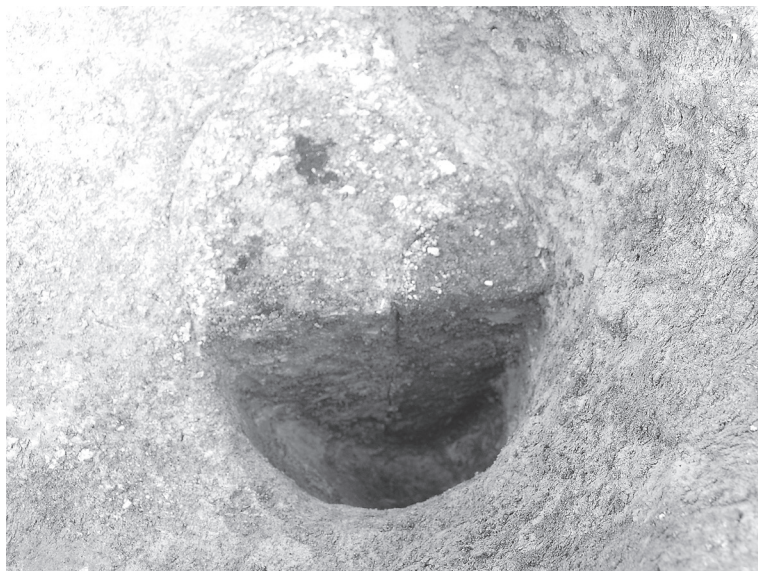
写真図版 2 調査区全景ほか



全景（南から）

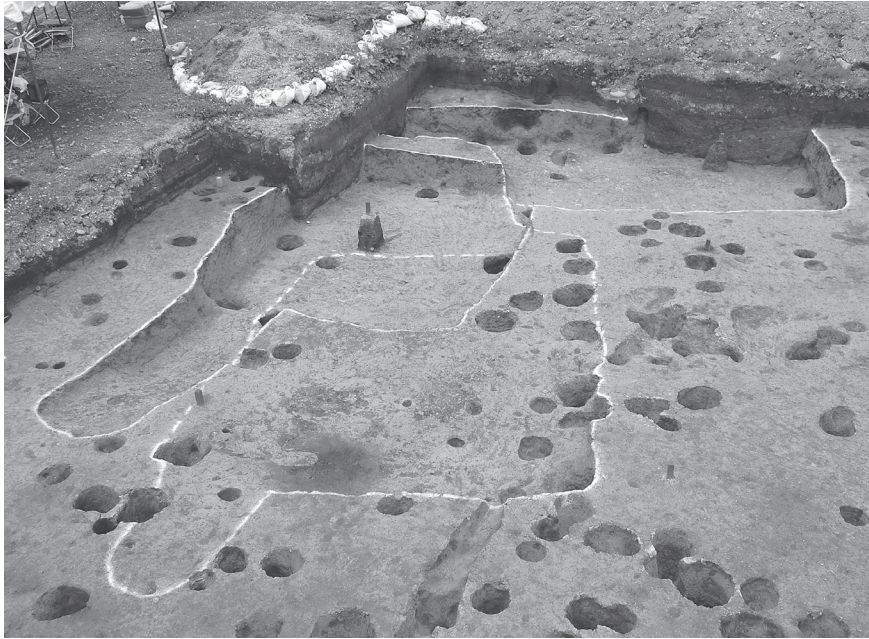


南北断面（東から）



p7 断面（南西から）

写真図版3 1号竖穴建物跡



重複する2～4号竪穴建物跡 全景（東から）



全景（西北から）



東西断面（南から）



柱穴検出状況（西から）

写真図版4 2号竪穴建物跡ほか



3号竖穴建物跡 全景（東から）



3号竖穴建物跡 南北断面（東から）

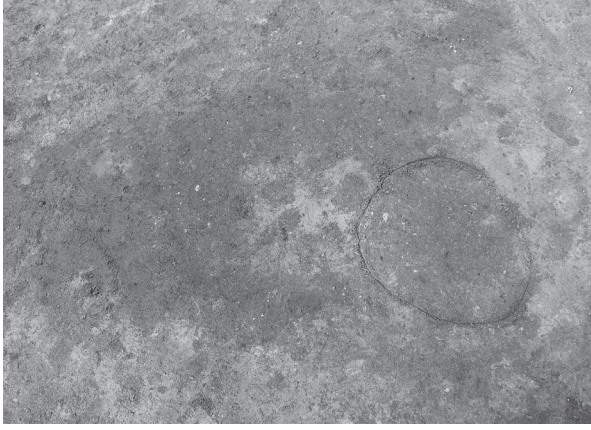


3号竖穴建物跡 p4断面（南から）



4号竖穴建物跡 全景（南西から）

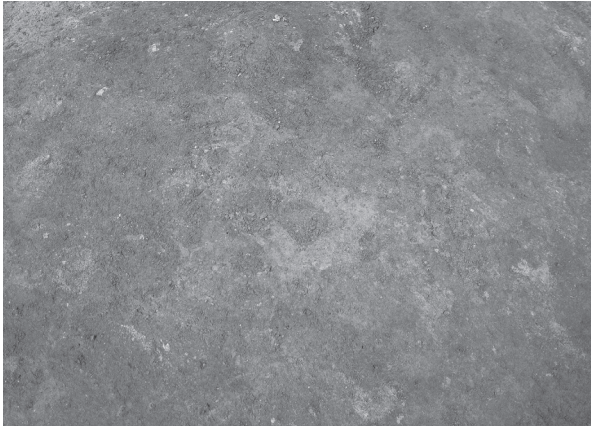
写真図版 5 3・4号竖穴建物跡



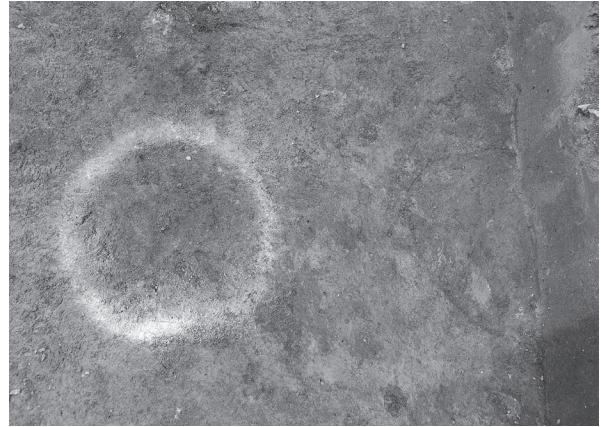
1号焼土 検出状況（南から）



1号焼土下層 p189・190・202 断面（南から）



2号焼土 検出状況（南から）



3・4号焼土 検出状況



3号焼土 断面（南から）



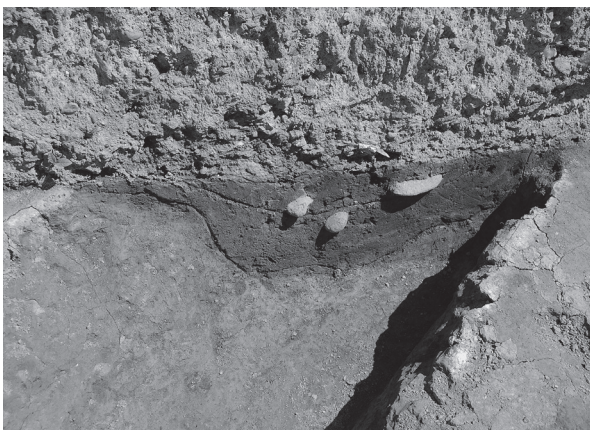
4号焼土 調査区東壁断面（西から）



1～4号溝跡 全景（北西から）



1号溝跡 全景（南から）



1号溝跡 調査区東壁断面（西から）



1号溝跡 断面（南から）

写真図版7 溝跡(1)



2号溝跡 全景（東南から）



4号溝跡 断面（南から）



小溝跡 全景（西から）



2・3号溝跡 断面（西から）

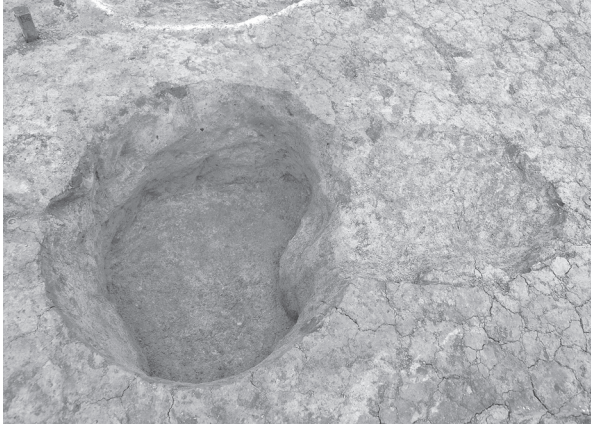


4号溝跡 全景（北西から）



小溝跡 断面（西から）

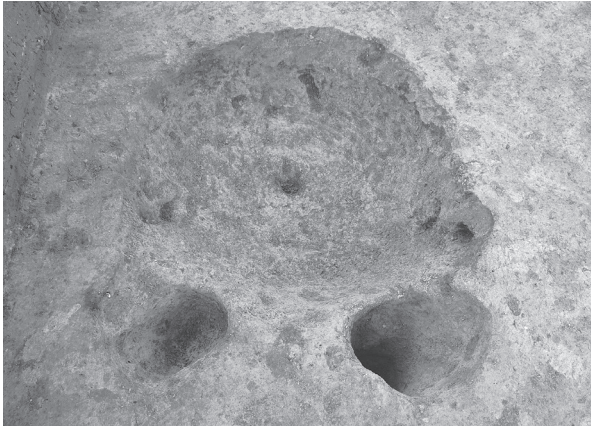
写真図版 8 溝跡 (2)



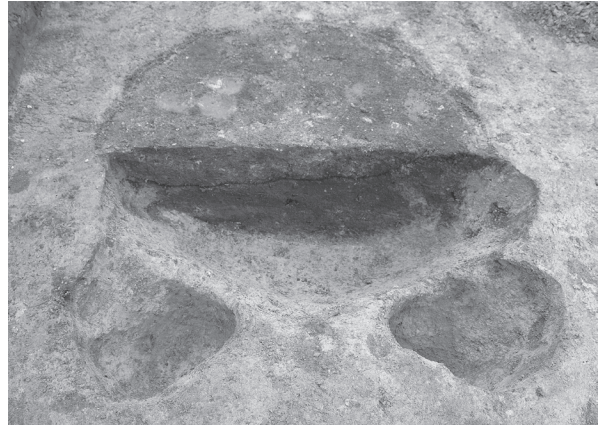
1号土坑 全景（東から）



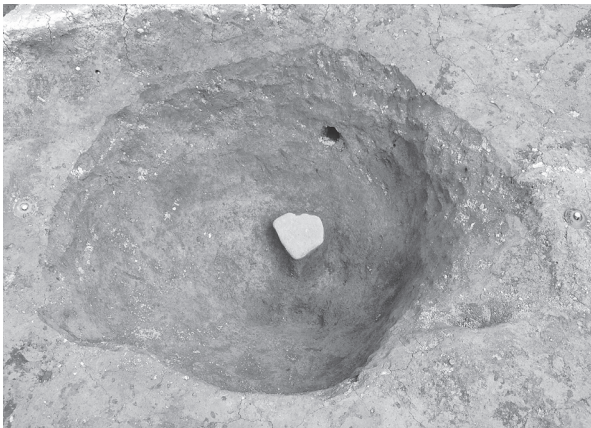
2号土坑 断面（南東から）



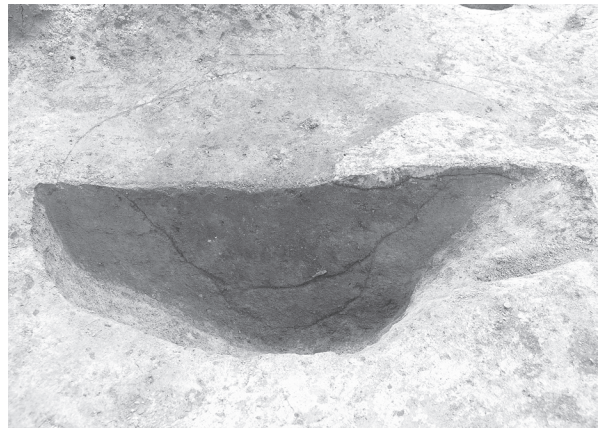
3号土坑 全景（南から）



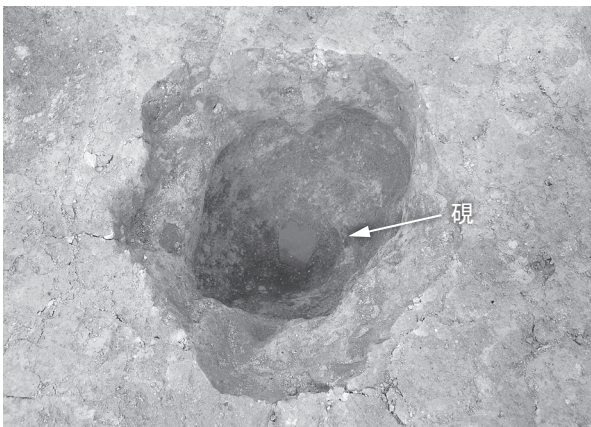
3号土坑 断面（南から）



5号土坑 全景（西から）

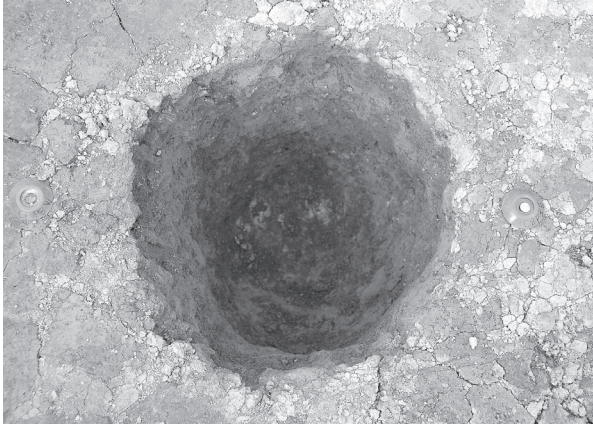


5号土坑 断面（西から）



p128 [D5] 下層 硯出土状況（南から）

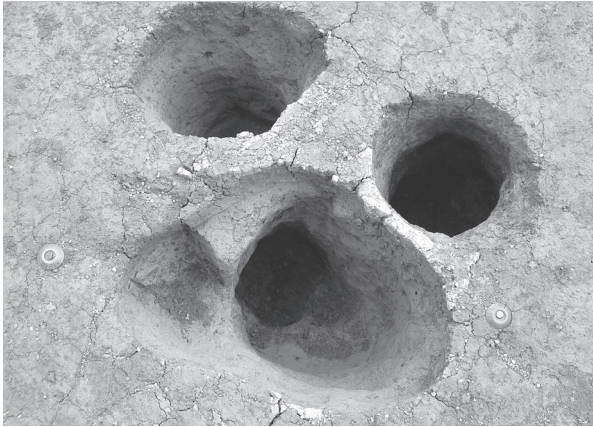
写真図版9 土坑・柱穴 (1)



p295 [C8] 全景 (南から)



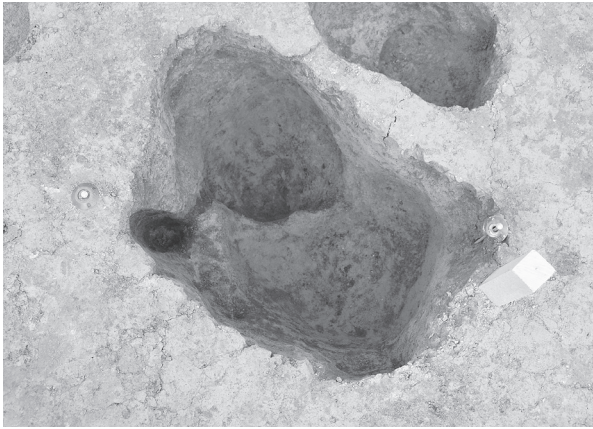
p295 [C8] 断面 (南から)



(上左)p320・(上右)p327・(下左)p324・(下右)p325 [D8] 全景(南から)



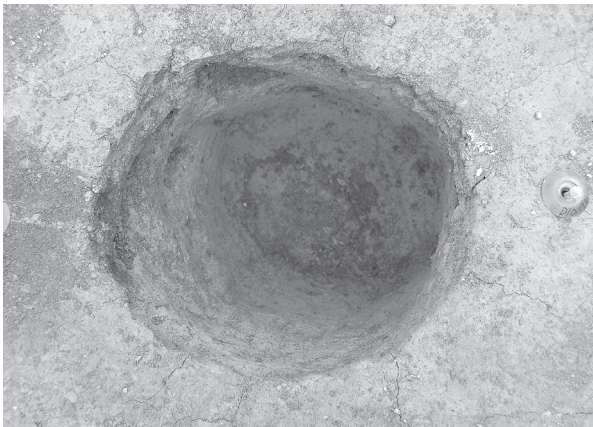
p324・p325 [D8] 断面及び砥石の出土状況 (左上) (南から)



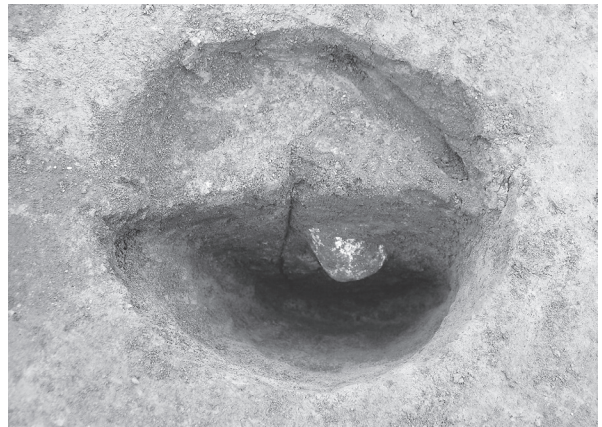
(上) p376・(下) p345 [D8] 全景 (西南から)



p345 [D8] 断面 (西南から)



p419 [D10] 全景 (南から)



p419 [D10] 断面 (南から)

写真図版 10 柱穴 (2)

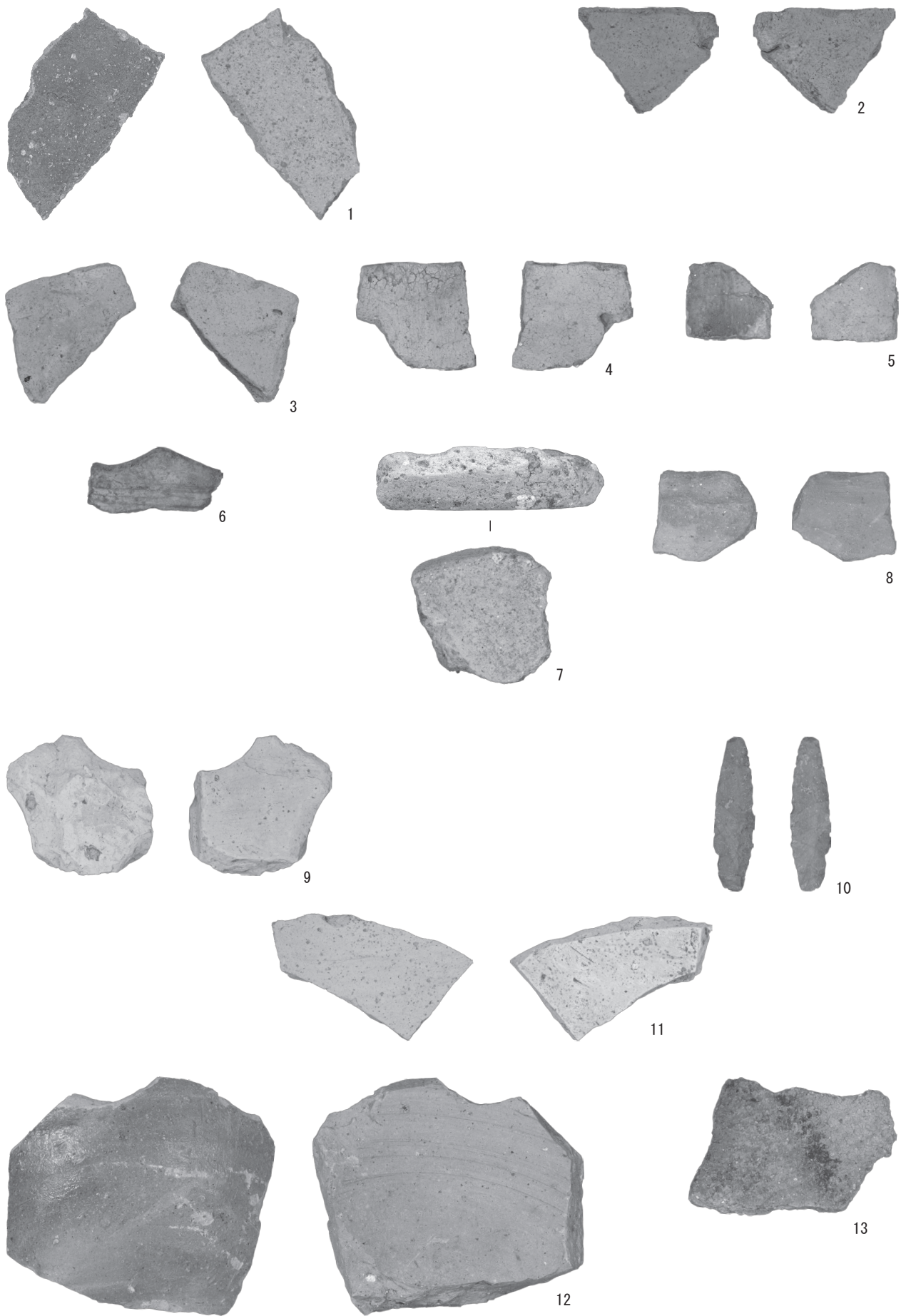


南城小学校の敷地内に残る旧奥州街道の松並木（北西から）



8月11日（祝日）実施の一般向け現地説明会（北西から）

写真図版 11 奥州街道の松並木ほか



写真図版 12 1～4号竪穴建物跡出土遺物



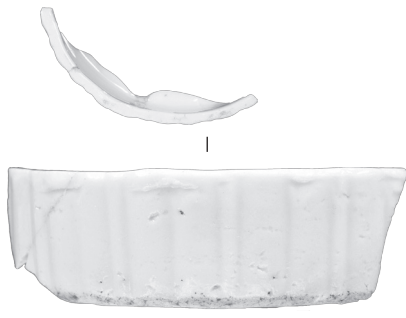
1



1



14



1

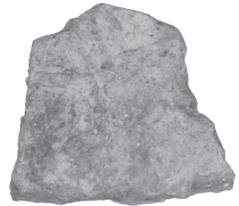
15



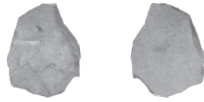
16



17



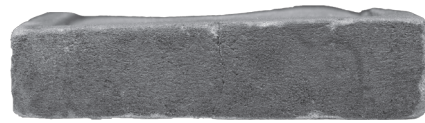
18



19



1



20



22



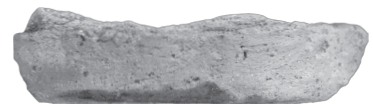
23



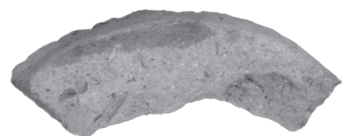
21



24



1



25

写真図版 13 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物

報告書抄録

ふりがな	とくべつようごろうじんほむべつとうけんせつつかんれんいせき はくつちょうさほうこくしょ へいせい28ねんどちょうさ かみだていせき
書名	特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡発掘調査報告書 平成28年度調査 上館遺跡
副書名	
シリーズ名	花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第22集
編著者名	酒井宗孝・橋本征也・菊池賢
遺物実測図	浅沼めぐみ
遺物写真撮影	高橋 純・吉田宗平
遺物写真編集	高橋 純・吉田宗平
編集機関	花巻市教育委員会 文化財課
所在地	〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161 電話 0198-45-1311
発行年月日	平成30(2018)年2月28日

所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみだていせき 上館遺跡	はなまきし 花巻市 南城 106-7、107-1	032051	ME36-0172	39度 22分 16秒	141度 7分 17秒	2016年 6月20日 ～8月30日	458㎡	特別養護 老人ホーム 別棟 建設

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
上館遺跡	城館跡、 集落跡	中・近世、 縄文、 平安	堀跡、 竪穴建物跡、 溝跡、柱穴	陶磁器、土師器・須恵器、縄文土器

要 約	
上館遺跡	中世の竪穴建物跡4棟や多数の柱穴跡、中世から近世以降にかけての溝跡4条（うち3条は近世の奥州街道に関わるもの）ほかが発見された。出土遺物は少ないが、発見された遺構からみて一帯は中世に稗貫氏家臣・十二丁目伊藤氏の城館・上館として利用されていたこと、後の近世（南部氏による盛岡藩政期）には付近に奥州街道が整備されたことが判明した。

花卷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第22集

**特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡
発掘調査報告書**

平成28年度調査

上館遺跡

平成30年2月28日

発行 花卷市教育委員会 教育長 佐藤 勝
〒028-3163 岩手県花卷市石鳥谷町八幡4-161
TEL (0198) 45-1311
FAX (0198) 45-1322

印刷 川嶋印刷株式会社
〒021-0822 岩手県一関市上大槻街3-11
TEL (0191) 46-4161